

中学校の学級活動における長期ビジョンに立った指導を支援する指導資料

学級ごとの 学級活動年間指導計画 作成と活用の手引

岩手県立総合教育センター

長期研修生

所属校 二戸市立福岡中学校

小田島篤史

目次

はじめに	1
本手引の構成	2
序章～基本構想	
今求められている学級活動とは	3
中学校の学級活動における長期ビジョンに立った指導とは	4
中学校の学級活動における長期ビジョンに立った指導を支援する指導資料とは	5
学級ごとの学級活動年間指導計画作成と活用	6
第1章～作業編	
手順1 学級活動の目標の設定	7～8
手順2-1 学期ごとの重点目標の設定	9～10
手順2-2 学期ごとの重点項目の設定	11～12
手順3 内容項目の関連・統合の構想	13～14
手順4-1 学期の反省	15～16
手順4-2 次学期計画の修正	17～18
第2章～実践編	
学期ごとの段階に配慮した指導構想	19～20
内容項目の関連・統合の方法	21
(1) 内容項目の関連の方法	22
(2) 内容項目の統合の方法	23
成果と課題を振り返るための視点	24～25
第3章～資料編	
学級ごとの学級活動年間指導計画（記入例）	26～28
特別活動全体計画（例）	29
第1学年学級活動年間指導計画（例）	30
第2学年学級活動年間指導計画（例）	31
第3学年学級活動年間指導計画（例）	32
1年○組学級活動年間指導計画（枠）	33
2年○組学級活動年間指導計画（枠）	34
3年○組学級活動年間指導計画（枠）	35
第1学年学級活動指導案（例）	
1 中学生になって（4月第1週）	36
11 望ましい人間関係（6月第3週）	37
21 学級財産の確認（10月第2週）	38
31 学習習慣の見直し（3月第1週）	39
第2学年学級活動指導案（例）	
1 2年生になって（4月第1週）	40
11 将来の生き方と職業（6月第3週）	41
21 後期活動へ向けて（10月第2週）	42
31 先輩への思いをこめて（2月第1週）	43
第3学年学級活動指導案（例）	
1 最高学年になって（4月第1週）	44
11 高校説明会を終えて（7月第2週）	45
21 将来の夢と希望（10月第4週）	46
31 有終の美を飾るため（2月第1週）	47

はじめに

学級活動は、学校生活の基盤といえる学級を単位として行われる教育活動であることから、特別活動の中心的な役割を果たすものとして充実が期待されています。

学習指導要領では目標や内容が改善され、学級活動の教育的意義が見直されましたが、**今求められている学級活動**とはどのようなことでしょうか。

本研究ではそれを、学級担任自らが年間指導計画を整備し、目指す学級像・生徒像を明確にもち、長期的な見通しの下、学級や生徒を育成する学級活動と捉えました。

その具現化のためには学級担任が目標を立て、長期的な見通しの下で意図的・計画的に学級活動を行っていくことが必要です。本研究ではそれを、**長期ビジョンに立った指導**と呼ぶことにしました。

本手引は、中学校の学級活動における長期ビジョンに立った指導を支援する指導資料です。現在学級担任をされている先生をはじめ、教育計画の立案に関わる分掌の先生、これから学級担任を受け持つ予定の先生など、多くの先生方のお手元でご活用ください。

本手引の構成

序章～第3章までの、4章構成になっています。

序章～基本構想

「今求められている学級活動」「長期ビジョンに立った指導」といった、本手引のキーワードの詳細を提示します。

第1章～作業編

学級担任の意図的・計画的な指導を推進する「学級ごとの学級活動年間指導計画」の作成を、ワークブック形式で体験します。

示された手順に沿って、仮想の「1年〇組学級活動年間指導計画」を作成することにより、学級や生徒の育成をイメージしながら、学級活動の年間の指導構想を立案することができます。

第2章～実践編

学級ごとの学級活動年間指導計画の効果的な活用を提示します。ここでは第1章で示した手順から3つを取り上げます。

学期ごとの指導段階に配慮した指導内容の設定、内容項目の関連・統合に着目した意図的・計画的な指導計画の立案、学期ごとの指導の成果と課題の振り返りを、学級担任自らで行うことができます。

第3章～資料編

学級活動が指導実践されるまでの流れを表すため、各学校において作成される指導計画と、学級担任が作成する指導計画の様式、作成例を提示します。

例示された学校としての学級活動の目標や、学年ごとに打ち出された系統性に沿って、本研究において作成した「学級ごとの学級活動年間指導計画」の様式を用いた計画の立案を行うことができます。また、内容項目の関連・統合を位置付けた学級活動指導案を参考に、一単位時間の指導を構想することができます。

序章

基本構想

序章では、本手引の基本的な考え方を説明します。

今求められている学級活動、その具現化のためのコンセプトである長期ビジョンに立った指導、そして指導資料の活用についての詳細をご覧ください。

今求められている学級活動とは

今求められている学級活動とは、

学級担任が目標を立て、

自らの指導ビジョンの下に学級活動の指導計画を作成し、

意図的・計画的に学級を育成する実践を行うこと。

つまり、



学年としての指導のねらい

を生かしつつ

学級の実態

に応じて

よりきめ細かな計画の立案

をすることにより

学級担任の意図的な指導が展開され、目指す学級像、生徒像の実現を図る

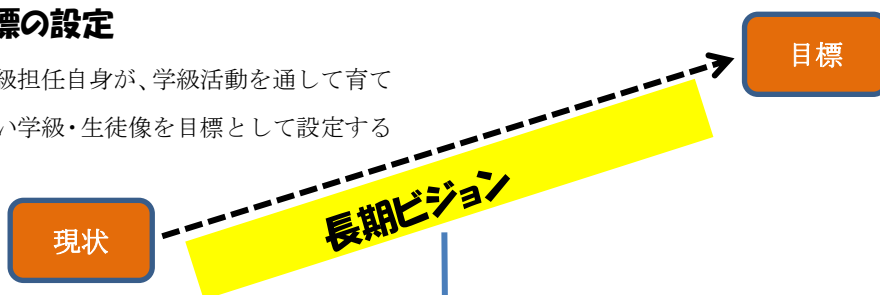
中学校の学級活動における長期ビジョンに立った指導とは

中学校の学級活動における長期ビジョンに立った指導とは、今求められている学級活動を具現化させるための手立てです。

今求められている学級活動の具現化

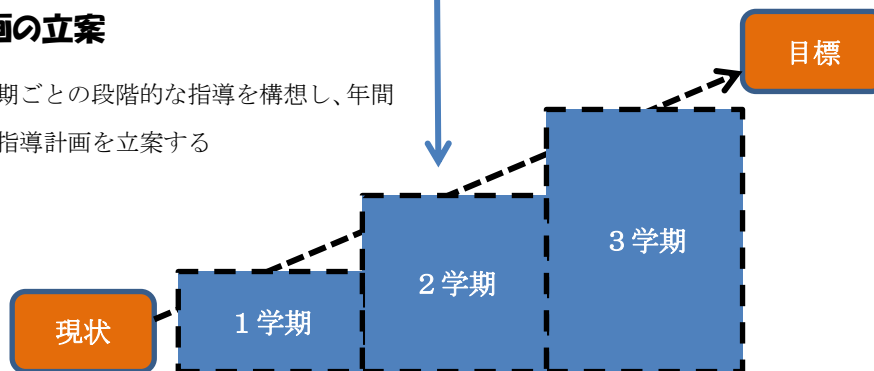
目標の設定

学級担任自身が、学級活動を通して育てたい学級・生徒像を目標として設定する



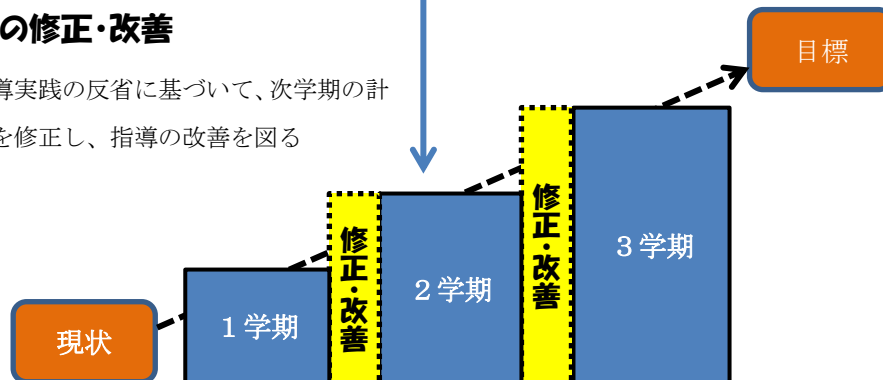
計画の立案

学期ごとの段階的な指導を構想し、年間の指導計画を立案する



計画の修正・改善

指導実践の反省に基づいて、次学期の計画を修正し、指導の改善を図る



中学校の学級活動における長期ビジョンに立った指導を支援する

指導資料とは

長期ビジョンに立った指導を行うために、学級担任向けの指導資料を提示します。
学級担任の意図的・計画的な指導に役立てます。

長期ビジョンに立った指導支援資料

1年〇組		特別活動の目標	誇ましい集団活動を通して健全な生活習慣を確立し、集団の一員としての自覚と規律ある生活態度を育てる						
学級活動		第1学年	学級活動の目標	学級活動を通して健全な生活習慣を確立し、互いに協力する態度と、集団生活の向上に資する個々の能力を育てる					
年間指導計画		1年〇組学級活動の目標							
		1学期		2学期		3学期			
重点目標 ◎/ 項目 ①/ ②/ ③									
月	計	題材・活動	活動内容 (1)(2)(3)	関連・統合 (1)(2)(3)	指導実践の記録	題材・活動	活動内容 (1)(2)(3)	関連・統合 (1)(2)(3)	指導実践の記録
	1	中学生になって	ア		8 18	1	29		学級活動①
	2	中学校の生活と約束	ウ		16	30	30		学級活動①
	4	学級目標づくり	イ		11	31	31		学級活動①
	4	学級結束づくり	イ		9	32	32		学級活動①
	5	生活活動への参画	ウ		18	33	33		学級活動①
	5	学級一丸となって	エ		10	34	34		学級活動①
	7	学級の成長をたのめよう	エ		20	35	35		学級活動①
	8	主体的な学習態度	イ		22				
	9	野外活動教室へ向けて	オ		23				
	6	防災安全教室	オ		11	24	24		学級活動①
	11	望ましい生活習慣	ケ		21				
	12	1学期の反省	エ		2				
	13	夏休みの計画	オ		2				
	14	保健指導	オ		18				
1学期の成果 ◎/ 課題 ①/ ②/ ③					1学期の成果 ◎/ 課題 ①/ ②/ ③				3学期の成果 ◎/ 課題 ①/ ②/ ③

学級ごとの 学級活動 年間指導計画

- ① 学年ごとの学級活動年間指導計画に基づいて、学級担任自らが作成する「学級ごとの学級活動年間指導計画」の様式を提示します (cf. p33-35)。
- ② 学級担任が実際に年間指導計画を作成するための手順とポイントを示します (cf. p7-18)。
- ③ 手順とポイントを参考にしながら、年間指導計画の作成が練習できるワークシートを提示します (cf. p7-18)。
- ④ 学級や生徒の育成がイメージできるよう、年間指導計画の作成例や、活用例を提示します (cf. p19-25)。
- ⑤ 学校として作成される特別活動全体計画例、学年ごとの学級活動年間指導計画例、実際の指導場面を想定した学級活動指導案例を、参考資料として提示します (cf. p26-47)。

中学校の学級活動における長期ビジョンに立った指導を支援する指導資料の作成

学級ごとの学級活動年間指導計画作成と活用

※数字①～⑩は、シート上の作業段階を示しています

1年〇組		特別活動の目標		望ましい集団活動を通して健全な生活習慣を確立し、集団の一員としての自覚と規律ある生活態度を育てる										
学級活動		第1学年		学級活動の目標		学級活動を通して健全な生活習慣を確立し、互いに協力する態度と、集団生活の向上に資する個々の能力を育てる								
年間指導計画		学級活動の重点項目		(1)ア、イ (2)オ、キ (3)ア		1年〇組学級活動の目標								
		1学期		2学期		3学期								
重点目標 項目・ (1) (2) (3)	①	①												
	②	②												
	③	⑤						⑧						
月 計	1	中学校について	ア	学級活動①	8	15	夏休みの反省と2学期の目標	エ	学級活動①	1	29	冬休みの反省と3学期の目標	エ	学級活動①
	2	中学校の生活と約束	ウ			16	気持ちの通った友達関係	イ			30	将来の生き方と進路計画	ウ	
	3	学級目標づくり	イ			17	新生徒会の発足	ウ			31	先輩への感謝の思い	ウ	
	4	学級組織づくり	イ			18	学級文化の創造	エ			2	学習習慣の見直し		⑨
	5	生徒会活動への参画	ウ			19	防災安全学習	オ			3	1年間の反省	エ	
	6	学級一丸となって	エ			20	自己の特性を知る	オ			34	春休みの過ごし方	エ	
	7	学級の成長をたしかめよう	エ	③		21	学級団体の確認	ウ	⑥		35	学級解散式	オ	
	8	主体的な学習態度	イ			22	後期学級組織決め	イ						
	9	野外活動教室へ向けて	オ			23	ボランティア活動の準備	カ						
	10	防災安全教室	オ			24	お互いのよきを見つめる	オ						
	11	望ましい生活習慣	ケ			25	生徒会活動への貢献	イ						
	12	1学期の反省	エ			26	真性と協力の思いやり	ク						
	13	夏休みの計画	オ			27	2学期の反省	エ						
	14	保健指導	オ			28	有意義な冬休みの生活	エ						
1学期の成果 評価	(1)	④						2学期の成果 評価		(1)	⑦			
	(2)									(2)				
	(3)									(3)	⑩			

手順	内容	sheet	手引の頁
手順 1	学級活動の目標の設定	①	p7-8
手順 2-1	学期ごとの重点目標の設定	②	p9-10
手順 2-2	学期ごとの重点項目の設定	②	p11-12
手順 3	内容項目の関連・統合の構想	③⑥⑨	p13-14
手順 4-1	学期の反省	④⑦⑩	p15-16
手順 4-2	次学期計画の修正	⑤⑧	p17-18

本手引の第1章では、各手順に該当するシート上の部分を、sheetとして示します。

例) シート上の⑤と⑧を対象とした手順

sheet

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

空白のページ

第1章

作業編

ワークブック形式で、「学級ごとの学級活動年間指導計画」の作成を体験していただきます。

左ページに練習問題、右ページに解説を載せています。

このページの作業編を体験することにより、学級ごとの学級活動年間指導計画作成のイメージをつかむことができます。

手順 1 学級活動の目標の設定

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

右ページに
解説

Let's Try!

担任する学級の学級活動の目標を、下の枠に沿って設定しましょう

学年の学級活動の目標		
学級の実態	担任の願い	Check! 集団としての実態と、生徒個々の実態がそれぞれ、とらえられていますか。 例) ・学級会などの話し合いでは？ ・ペアやグループの活動では？ ・進路に対する意識は？
↓		
学級活動を通して目指す生徒像		Check! 活動場面での具体的な姿が書かれていますか。 例) ・集団の価値形成のために、進んで意見が言える生徒 ・不安のない集団生活を維持するために、相手を思いやろうとする生徒
↓		
__年__組 学級活動の目標		

Final Check!

学級活動の目標を自己診断しましょう

	○	△
目標が、スローガンのようになっていませんか？ 例) △明るく 正しく 健やかな生徒 (スローガンの)		
指導の成果を振り返ることができる目標ですか？ 例) ○・・・できる学級を育成する。・・・な態度を育成する。		
特定の学期を対象とせず、年間を通して掲げられる目標ですか？ 例) △合唱コンクールで男女の協力を図る。(特定の学期)		

学級活動の目標の設定（例）

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

●学級活動の目標（学習指導要領）

学級活動を通して、望ましい人間関係を形成し、集団の一員として学級や学校におけるよりよい生活づくりに参画し、諸問題を解決しようとする自主的、実践的な生活態度を育てる

●各学年の学級活動の目標

1 学年	2 学年	3 学年
学級活動を通して健全な生活態度を確立し、互いに協力する態度と集団生活の向上に資する個々の能力を育てる	学級活動を通して望ましい人間関係を形成し、学校生活へ参画しようとする自主的、実践的な態度を育てる	学級活動を通して役割を自覚し、互いに協力しながら学校生活を向上させ、将来へ向かって自己を生きかそうとする態度を育てる

●学級の実態

- ・男女とも協力し合って生活することができる。
- ・主体的に自分の将来を考える態度が育っていない。

●担任の願い

ともに向上し合う関係をつくってほしい。また、お互いの将来の夢を語り合える集団にしたい。

●目指す生徒像

- ・集団の価値形成のため、進んで意見を言える生徒
- ・互いの気持ちのつながりを大切にする生徒
- ・働くことや学ぶことについて、意志決定できる生徒

■1年〇組 学級活動の目標

互いを認め合う親和的な人間関係を形成し、一人一人が生活向上を目指して生き生きと活動できる学級を育成する

Point 1

生徒の発達段階に応じた学年ごとの目標設定に着目する

- ・学級集団の育成に関して、学年として求めている態度や能力
- ・集団生活における問題解決や、自分自身がよりよい生活を送るための実践的な態度

Point 2

学級の集団活動を行う際の実態をとらえる

- ・話し合い活動での一人一人の参加意識の高さ
- ・集団による意志決定、個人による意志決定の場面の様子
- ・ワークシートの記入内容、交流活動における発言内容に見られる個々の主張の有無

Point 3

学級活動を通して目指す生徒像を考える

- ・集団の意志決定の場面での姿
- ・個人の意志決定の場面での姿
- ・ペアやグループでの活動の姿

手順 2-1 学期ごとの重点目標の設定

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

右ページ
に解説

Let's Try!

学級活動(1)～(3)の内容に応じた学期ごとの重点目標を、下の枠に沿って設定しましょう

■ ____年__組 学級活動の目標

● 1学期の重点目標

学級活動(1)

学級活動(2)

学級活動(3)

Check!

1学期に行う指導が、具体的にイメージされていますか？

例) 1学年

- (1) 学級組織や係活動の確立など、学校生活の基礎づくりに関する事
- (2) 学校生活の適応や不安への対処など
- (3) 教科担任制や定期テストなど、中学校の学習への理解を深める事

Check!

2学期までに達成したい指導が具体的にイメージされていますか？

例) 1学年

- (1) 学級や学校生活の向上に関する事
- (2) 人間関係の形成や、内面の充実に関する事
- (3) 学習の難易度を克服するための学習習慣の形成に関する事

Check!

3学期までに達成したい指導が具体的にイメージされていますか？

例) 1学年

- (1) 生徒会活動や学校行事への参加態度に関する事
- (2) 集団における個の在り方に関する事
- (3) 進路情報を活用し、将来への関心を高める事など

● 2学期の重点目標

学級活動(1)

学級活動(2)

学級活動(3)

● 3学期の重点目標

学級活動(1)

学級活動(2)

学級活動(3)

学期ごとの重点目標の設定（例）

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

1 年 ○ 組 学級活動の目標

お互いを認め合う親和的な人間関係を形成し、互いに協力する態度と、集団生活に資する個々の能力を育成する

● 1 学期の重点目標

学級活動(1)

学級組織を確立させ、ルールに沿った生活を実践させる

学級活動(2)

中学校生活への不安や悩みを解消し、学校への望ましい適応を図る

学級活動(3)

学ぶことへの理解を深め、学習習慣の確立を図る

Point 1

1 年間の方向付けとなる 1 学期の指導

- 1 学年→学校生活の基盤づくり
- 2 学年→学級編制替えにともなう、新しい集団による生活づくり
- 3 学年→最高学年としての自覚を育てる指導

Point 2

内面の充実を図る 2 学期の指導

- 1 学年→自分たちの直面する問題を主体的に解決させる指導
- 2 学年→学級の生活向上のために、一人一人の参加意欲を高める指導
- 3 学年→自分たちの将来について、生徒同士が交流し合える関係づくり

● 2 学期の重点目標

学級活動(1)

生活上の問題に気付き、解決する能力を育てる

学級活動(2)

一人一人の心のつながりを強め、望ましい人間関係を育てる

学級活動(3)

自ら立てた学習計画に基づいて予習・復習に取り組む態度を育てる

Point 3

学級内における多様な集団への参画や、進路への理解を深める 3 学期の指導

- 1 学年→上級生との関係から、よりよい学校生活を学ばせる
- 2 学年→最高学年への進級へ向け、意識を高揚させる指導
- 3 学年→最上級生として残すべき財産や、将来の希望を主体的に考えさせる指導

● 3 学期の重点目標

学級活動(1)

多様な集団による活動への参画意識を高める

学級活動(2)

自分たちの生活環境の最適化に努める態度を育てる

学級活動(3)

進路情報を進んで活用し、進路適性への理解を深める

手順 2-2 学期ごとの重点項目の設定

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

右ページ
に解説

Let's Try!

下の枠に沿って、手順2-1で設定した学期ごとの重点目標に応じた、重点項目を設定しましょう

● 1 学期

重点目標◎／重点項目・	(1)	◎
		・
	(2)	◎
		・
	(3)	◎
		・



● 2 学期

重点目標◎／重点項目・	(1)	◎
		・
	(2)	◎
		・
	(3)	◎
		・



● 3 学期

重点目標◎／重点項目・	(1)	◎
		・
	(2)	◎
		・
	(3)	◎
		・

Check!

重点目標に見合った内容項目を重点項目として設定していますか？

本手引の第2章 p. 18～p. 19 を参照し、学級活動(1)～(3)の活動の特性と照らし合わせて重点項目を確認してみましょう。

学期ごとの重点項目の設定（例）

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

● 1 学期

重点目標◎／重点項目・	(1)	◎学級組織を確立させ、ルールに沿った生活を実践させる
		・ (1)イ 学級内の組織づくりや仕事の分担処理
	(2)	◎中学校生活への不安や悩みを解消し、学校への望ましい適応を図る
		・ (2)ア 思春期の不安や悩みとその解決
	(3)	◎学ぶことへの理解を深め、学習習慣の確立を図る
		・ (3)ア 学ぶことと働くことの意義の理解



● 2 学期

重点目標◎／重点項目・	(1)	◎生活上の問題に気づき、解決する能力を育てる
		・ (1)ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決
	(2)	◎一人一人の心のつながりを強め、望ましい人間関係を育てる
		・ (2)オ 望ましい人間関係の確立
	(3)	◎自ら立てた学習計画に基づいて予習・復習に取り組む態度を育てる
		・ (3)イ 自主的な学習態度の形成と学校図書館の利用



● 3 学期

重点目標◎／重点項目・	(1)	◎多様な集団による活動への参画意識を高める
		・ (1)ウ 学校における多様な集団の生活の向上
	(2)	◎自分たちの生活環境の最適化に努める態度を育てる
		・ (2)キ 心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成
	(3)	◎進路情報を進んで活用し、進路適性への理解を深める
		・ (3)ウ 進路適性の吟味と進路情報の活用

Point

重点目標を達成させるための、重点項目の設定

重点項目は、学級活動(1)学級や学校の生活づくり、(2)適応と成長及び健康安全、(3)学業と進路、それぞれの内容から設定されます。

重点項目は、それぞれの重点目標の達成を果たすために、最も重視すべき内容項目を選んで設定します。必要に応じて複数の内容項目を設定することも考えられます。

手順3 内容項目の関連・統合の構想

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

右ページ
に解説

Let's Try!

内容項目の関連・統合を図った1学期指導計画を、下の枠に沿って作成しましょう

●1年〇組1学期重点項目

(1)	イ	学級内の組織づくりや仕事の分担処理
(2)	ア	思春期の不安や悩みとその解決
(3)	ア	学ぶことと働くことの意義の理解

すでに計画表には、学年で設定した活動内容（主項目）が記入されています。

ここでは、学級として設定した1学期の重点項目を関連・統合させた計画を立案します。

●1年〇組1学期指導計画

月	計	題材・活動	活動内容			関連・統合		
			(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)
4	1	中学生になって		ア				
	2	中学校の生活と約束		ウ				
	3	学級目標づくり	イ					
	4	学級組織づくり	イ					
	5	生徒会活動への参画	ウ					
5	6	学級一丸となって	ア					
	7	学級の成長をたしかめる	ア					
	8	主体的な学習態度			イ			
6	9	野外活動教室へ向けて		オ				
	10	防災安全学習		キ				
	11	望ましい生活習慣		ケ				
7	12	1学期の反省	ア					
	13	夏休みの計画			オ			
	14	保健指導		キ				

※下線は学年の重点項目

Check!

学年で設定した活動内容（主項目）との有機的な関連が図られていますか
学年として設定した主項目は、題材・活動のねらいに対応しています。関連・統合は、主項目を生かす計画であることが条件です。

Check!

一単位時間の指導過程をイメージしていますか？
複数の内容項目を指導する計画ですので、授業の展開イメージが必要です。
例えば、朝食の必要性を学ばせつつ、早寝早起きの生活リズムを指導することは、(2)ケとキの関連です。

内容項目の関連・統合の構想(例)

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

● 1 年 〇 組 1 学期重点項目

(1)	イ	学級内の組織づくりや仕事の分担処理
(2)	ア	思春期の不安や悩みとその解決
(3)	ア	学ぶことと働くことの意義の理解

● 1 年 〇 組 1 学期指導計画

月	計	題材・活動	活動内容			関連・統合		
			(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)
	1	中学生になって		ア				
	2	中学校の生活と約束		ウ			ア	
4	3	学級目標づくり	イ					
	4	学級組織づくり	イ					
	5	生徒会活動への参画	ウ			イ		
5	6	学級一丸となって	ア			イ		
	7	学級の成長をたしかめる	ア					
	8	主体的な学習態度			イ			
6	9	野外活動教室へ向けて		オ		イ		
	10	防災安全教室		キ				
	11	望ましい生活習慣		ケ				
7	12	1学期の反省	ア					
	13	夏休みの計画			オ			ア
	14	保健指導		キ				ア

※下線は学年の重点項目

Point 1

「関連」は、指導のねらいに関わるもう一つの内容項目

例えば、(2)ウで中学校生活の約束をガイダンス指導しながら(2)アで新入生の学校生活への不安を解消する指導計画が考えられます。

Point 2

「統合」は、複数の内容項目を一つとして取り扱う

例えば、体育祭への参加を題材として、(1)アの学校生活の充実と向上をねらいを、(1)イで、生徒それぞれの意志表明によって果たそうとする指導計画が考えられます。

手順4-1 学期の反省

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

Let's Try!

右ページ
に解説

指導実践の記録をもとに、1学期の反省をしましょう。

◎ 1学期指導実践の記録

学級活動(1)

学級目標決めでは、自己紹介で話した学校生活への希望をまとめる形で話し合いができた。

体育祭への参加意識を話し合う場では、学級委員Rを中心とした男子生徒たちの活発な意見交換があった。上級生からの指導に応えるための行動目標として、大きな返事、元気な拍手、素早い行動の三つが決定した。

学級活動(2)

学校のきまりや生徒会の機構、授業規律に関する指導を継続して行うことにより、中学校生活への適応が図られた。

防災や保健に関する指導では、話し合い活動を通して他者の考え方に触れながら、最終的には個々の意志決定を促すことができた。

学級活動(3)

教科担任制で学ぶこと、定期テストへ向けての取り組み方など、中学校の学習への適応を中心とした指導継続して行った。

夏休みの学習計画の指導を行い、課題の終了予定日を設定させた。また、生活時程を計画させたところ、女子Kは、1日8時間学習、男子Rはノーテレビデーの設定を行った。

■ 1学期の成果○／課題●

(1)	○
	●
(2)	○
	●
(3)	○
	●

Check!

指導の成果と課題を、学級の集団・個の変容から見取っていますか？

「～を指導した」「～の活動をさせた」が、指導実践の記録にはあると思いますが、教師側の働きかけのみで成果と課題を振り返ることはできません。指導に対して、期待する生徒の変容があったのかを判断し、反省を行います。

1年〇組1学期の反省(例)

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

◎1学期指導実践の記録

学級活動(1)	学級活動(2)	学級活動(3)
<p>学級目標決めでは、自己紹介で話した学校生活への希望をまとめる形で話し合いができた。</p> <p>体育祭への参加意識を話し合う場では、学級委員Rを中心とした男子生徒たちの活発な意見交換があった。上級生からの指導に応えるための行動目標として、大きな返事、元気な拍手、素早い行動の三つが決定した。</p>	<p>学校のきまりや生徒会の機構、授業規律に関する指導を継続して行うことにより、中学校生活への適応が図られた。</p> <p>防災や保健に関する指導では、話し合い活動を通して他者の考え方に触れながら、最終的には個々の意志決定を促すことができた。</p>	<p>教科担任制で学ぶこと、定期テストへ向けての取り組み方など、中学校の学習への適応を中心とした指導継続して行った。</p> <p>夏休みの学習計画の指導を行い、課題の終了予定日を設定させた。また、生活時程を計画させたところ、女子Kは、1日8時間学習、男子Rはノーテレビデーの設定を行った。</p>



■1学期の成果○/課題●

(1)	<p>○体育祭へ向けての話し合いで、リーダーを中心とした前向きな発言が学級全体の意識の向上につながり、学級組織を生かした話し合い活動が形成されていった。</p> <p>●特定のリーダー以外の生徒からの発言が少ない。学級全体で課題に取り組む姿勢をもたせたい。</p>
(2)	<p>○学校生活への不安や疑問に対し、ていねいに回答することにより、望ましい適応が図られた。学校生活のルールが浸透し、学校の一員としての自覚が定着した。</p> <p>●生徒同士の望ましい人間関係の確立が課題。思いやりや協力を行動で示すための意図的な指導が必要である。</p>
(3)	<p>○中学校の学習に関するガイダンスを行い、教科担任制で学ぶことの意義を理解させることができた。</p> <p>●自主的に学ぶことへの関心を高め、教科の分け隔てなく意欲的に学習に取り組む態度を培うことが必要である。</p>

Point1

「指導実践の記録(1)～(3)」の記入は、指導のメモ

学級担任が、自分の指導を振り返るための記述があれば十分です。しかし、気になる生徒の変容がある場合は、その様子を記入しておきます。
例) 男子Rが初めて挙手による発言を行った


Point2

「成果と課題」は、学級担任の意図的・計画的な指導への自己評価

ここで言うことは、自ら設定した学期の重点目標/重点項目への指導への自己評価です。学級担任の意図的・計画的な指導によって、期待する生徒や学級の変容があればそれが成果です。

手順 4 - 2 次学期計画の修正

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

右ページに
解説 

Let's Try!

1学期の反省に基づき、下の枠に沿って2学期計画の修正をしましょう。

■ 1学期指導実践後の課題

(1)	特定のリーダー以外の生徒からの発言が少ない。学級全体で課題に取り組む姿勢をもたせたい。
(2)	生徒同士の望ましい人間関係の確立が課題。思いやりや協力を行動で示すための意図的な指導が必要である。
(3)	自主的に学ぶことへの関心を高め、教科の分け隔てなく意欲的に学習に取り組む態度を培うことが必要である。

● 2学期計画（修正前）

重点目標◎／重点項目・	(1)	◎生活上の問題に気付き、解決する能力を育てる
		・ (1)ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決
	(2)	◎一人一人の心のつながりを強め、望ましい人間関係を育てる
		・ (2)オ 望ましい人間関係の確立
	(3)	◎自ら立てた学習計画に基づいて予習・復習に取り組む態度を育てる
		・ (3)イ 自主的な学習態度の形成と学校図書館の利用

● 2学期の計画（修正後）

重点目標◎／重点項目・	(1)	◎
		・
	(2)	◎
		・
	(3)	◎
		・

Check!

学級担任の意図的な指導構想を生かして、計画の修正ができましたか？

この手順は、指導の実態、生徒や学級の実態に応じて計画を修正することにより、指導の改善を図ることが目的です。「学級組織を機能させるため、次学期は学級執行部の起案で班活動を充実させたい」など、学級経営上の指導構想を、意図的に学級活動の計画へ加味することができます。

2 学期指導計画の修正（例）

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

■ 1 学期の課題

(1)	特定のリーダー以外の生徒からの発言が少ない。学級全体で課題に取り組む姿勢をもたせたい。
(2)	生徒同士の望ましい人間関係の確立が課題。思いやりや協力を行動で示すための意図的な指導が必要である。
(3)	自主的に学ぶことへの関心を高め、教科の分け隔てなく意欲的に学習に取り組む態度を培うことが必要である。



● 2 学期計画（修正前）

重点目標 ◎／重点項目	(1)	◎生活上の問題に気付き、解決できる能力を育てる ・ (1)ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決
	(2)	◎一人一人の心のつながりを強め、望ましい人間関係を育てる ・ (2)オ 望ましい人間関係の確立
	(3)	◎自ら立てた学習計画に基づいて予習・復習に取り組む態度を育てる ・ (3)イ 自主的な学習態度の形成と学校図書館の利用



● 2 学期計画（修正後）

重点目標 ◎／重点項目	(1)	◎生活上の問題に気付き、解決できる能力を育てる ・ (1)ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決
	(2)	◎一人一人の心のつながりを強め、望ましい人間関係を育てる ・ (2)オ 望ましい人間関係の確立
	(3)	◎学ぶことへの関心をもたせ、教科の分け隔てなく意欲的に学習する態度を培う ・ (3)ア 学ぶことと働くことの意義の理解

修正

Point

修正が必要と判断する主な理由

- ・ 1 学期の重点目標が果たされなかった、あるいは重点項目の指導が足りなかった
- ・ 2 学期の重点目標がすでに果たされている。よって変更を行いたい
- ・ 重点項目を再設定して、関連・統合を図りたい

第2章

実践編

学級ごとの学級活動年間指導計画を、より効果的に活用していただくために、第1部で示したいくつかの手順についての作成例、活用例を提示します。

■学期ごとの段階に配慮した指導構想

(手順2における活用資料)

学期ごとの段階に配慮した指導構想を提示します。ここでは特に、担任の指導の意図（上段）を生かす指導内容（下段）の設定方法について触れます。

(例) 第1学年、学期ごとの活動計画例

1学期の学級活動→ 学校生活の基盤を固める

活動(1)



学級組織を確立し、ルールを守った生活を実践させたい

(1)イ
学級内の組織づくりや仕事の分担処理

活動(2)



学校生活への適応を図り、不安や悩みの解消に努めたい

(2)ア
思春期の不安や悩みとその解決

活動(3)



教科担任制で学ぶことの意義を理解させたい

(3)ア
学ぶことと働くことの意義の理解

2学期の学級活動→ 一人一人の気持ちをつなぎ、学級文化を創造する

活動(1)



学校生活で直面する問題を主体的に解決させたい

(1)ア
学級や学校における生活上の諸問題の解決

活動(2)



行事へ向けて、生徒同士のつながりを深めたい

(2)オ
望ましい人間関係の確立

活動(3)



学習計画を立て、自主的に学習する習慣を形成したい

(3)イ
自主的な学習態度の形成と学校図書館の利用

3学期の学級活動→ 内面の充実を図り、学校の一員としての自覚を促す

活動(1)



学校へ貢献する意欲を醸成させ、愛校心を高めたい

活動(2)



生徒が相互に理解し合い、尊重し合える関係を築きたい

活動(3)



将来への関心から、すすんで進路情報を活用させたい

(1) ウ
学校における多様な集団の生活の向上

(2) イ
自己及び他者の個性の理解と尊重

(3) ウ
進路適性の吟味と進路情報の活用

Let's Try!

学期ごとの指導段階を、活動内容からシミュレーションしましょう。

例) 1年〇組

	段階	活動(1)	活動(2)	活動(3)
1学期	学校生活の基盤を固める	イ 学級内の組織づくりや仕事の分担処理	ア 思春期の不安や悩みとその解決	ア 学ぶことと働くことの意義の理解
2学期	一人一人の気持ちをつなぎ、学級文化を創造する	ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決	オ 望ましい人間関係の確立	イ 自主的な学習態度の形成と学校図書館の利用
3学期	内面の充実を図り、学校の一員としての自覚を促す	ウ 学校における多様な集団の生活の向上	イ 自己及び他者の理解と尊重	ウ 進路適性の吟味と進路情報の活用



わたしの担任する学級では

___年___組

	段階	活動(1)	活動(2)	活動(3)
1学期				
2学期				
3学期				

■内容項目の関連・統合の方法

(手順3における活用資料)

内容項目の関連・統合は、学級担任が意図的・計画的に指導を進める上で有効な手立てです。以下に基本的な考え方を示します。

一単位時間に、複数の内容項目を指導する計画が、内容項目の関連・統合です。

1年口組1学期の重点目標／項目（例）

重点目標／項目	(1)	学級組織を確立させ、ルールに沿った生活を確立させる
		イ 学級内の組織づくりや仕事の分担処理
	(2)	中学校生活への不安や悩みを解消し、学校生活への望ましい適応を図る
		ア 思春期の不安や悩みとその解決
	(3)	授業規律を確立し、家庭学習の習慣化を図る
		ア 学ぶことと働くことの意義の理解



学級活動4月計画（例）

月	計	題材・活動	活動内容			関連・統合	
			(1)	(2)	(3)	(1)	(2)
4	1	中学生になって		ア			
	2	中学校の生活と約束		ウ		ア	
	3	学級目標づくり		イ			
	4	学級組織づくり		イ			
	5	生徒会活動への参画		ウ		イ	

学年として設定した内容項目

(2)ウ 社会の一員としての自覚と責任

指導計画に、複数の
内容項目を設定する
(関連・統合)

学級として設定した重点項目

(2)ア 思春期の不安や悩みとその解決



(1) 内容項目の関連の方法

例

1 学年学級活動年間指導計画

題材・活動	活動内容			題材・活動のねらい
	(1)	(2)	(3)	
中学校の生活と約束		ウ		学校内のきまりや約束をガイダンスによって周知させ、学校生活への適応を図る

題材・活動のねらいが、内容項目の設定理由となります。これを主項目として指導します。



ガイダンス

(2)ウ 社会の一員としての自覚と責任

関連

1 年口組学級活動年間指導計画

1 年A組 1 学期の重点目標

- | | |
|-----|----------------------------------|
| (2) | 中学校生活への不安や悩みを解消し、学校生活への望ましい適応を図る |
| ア | 思春期の不安や悩みとその解決 |

学級担任の指導の意図は、新1年生の中学校生活に対する質問に回答し、望ましい適応を図ること。ここでは内容項目(2)アを関連させての指導を構想しています。

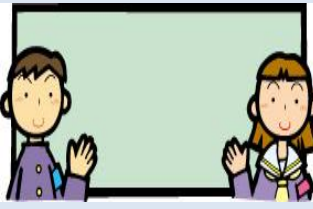
学級活動 4 月計画

題材・活動	活動内容			関連・統合		
	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)
中学校の生活と約束		ウ			ア	

生活のきまり



異年齢集団の活動



教科担任制



不安や悩み



(2) 内容項目の統合の方法

例

1 学年学級活動年間指導計画

題材・活動	活動内容			題材・活動のねらい
	(1)	(2)	(3)	
学級一丸となって	ア			学級で臨む初めての行事で、自分たちの目指す姿を実現させる意欲をもつ

この題材・活動では、学級や学校の生活の充実と向上の問題を取り上げた指導をねらいとした計画が立てられています。

(1)ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決

統合

1 年〇組学級活動年間指導計画

1 年A組 1 学期の重点目標

- (1) 学級組織を確立させ、ルールに沿った生活を確立させる
イ 学級内の組織づくりや仕事の分担処理

学級担任の指導の意図は、体育祭へ向けての決意を、学級の全員に発表させて、学級の生活の充実と向上へつなげること。

- ・委員会の一員として
- ・各係の担当者として
- ・組対抗競技メンバーとして
- ・リレーの代表選手として
- ・組団シンボル制作係として

お互いの役割を意識させ、がんばりを認め合わせたいことから、(1)イを統合させます。

学級活動 5 月計画

題材・活動	活動内容			関連・統合		
	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)
学級一丸となって	ア			イ		



この体育祭で、生徒がそれぞれの役割を意識し、各場面での互いの活躍を認め合うことができれば

学級の生活の充実と向上につなげることができる

■成果と課題を振り返るための視点

(手順4-1における活用資料)

学級担任が自らの指導を評価するための視点を提示します。(1)～(3)の各内容に配置した4つの窓には、評価の観点と、評価の対象となる具体的な指導場面や活動場面等が示されています。

振り返りの視点 1学年(例)

学級活動(1) 学級や学校の生活づくり

人間関係、集団への所属に関する適応が十分に図られたか。

話し合いによる問題解決

個別・グループ指導

学級の総意による集団決定が果たされたか

きまり、目標決め

学級組織づくり

生徒たちの役割分担に基づいて、活動が行われたか

学級会、グループ討議

議長や班長の活動

異年齢集団や学級と異なる集団における実践力を高められたか

行事等の行動目標決め

マナーやルール指導

学級活動(2) 適応と成長及び健康安全

学習、生活、進路や性についての悩みを把握し、解消させることができたか。

悩み調査と相談

語り合い、インタビュー

自他を尊重する態度を身に付けさせることができたか。

構成的グループエンカウンター

ロールプレイング

健康や安全への理解や、望ましい生活習慣を形成する態度の育成が、十分に図られたか。

生活習慣、食育の指導

飲酒、喫煙、薬物の指導

集団や社会の一員としての自覚に基づき、主体的に生活する態度を身に付けさせることができたか。

ルールやマナー指導

ボランティア活動の意義

学級活動(3) 学業と進路

自分のよさを生かし、自立を遂げるために
学び続けることの意義を理解させること
ができたか。

進路適性の調査

(選択) 教科ガイダンス

自分の意志と責任で進路を選択・決定する
ことの必要性を、理解させることができた
か。

卒業生と語る会の感想発表

高校体験入学事前学習

職業を通じて社会の一員としての役割を
果たすことについて、主体的に考えさせる
ことができたか。

職場体験発表会

保護者へのインタビュー

進路や将来設計を考える上で必要な情報
を選択し、活用させることができたか。

ライフプランの設計

高校説明会の体験発表

Point

学級活動(1)～(3)の特性を理解しましょう。

活動内容	活動の特性
(1) 学級や学校の生活づくり	生徒が、自分たちの問題に気づき、よりよい学校生活を送るために、話し合いを通して集団決定する活動
(2) 適応と成長及び健康安全	集団や社会の形成者としての資質や望ましい生活習慣、自他を尊重する態度を選択・決定する活動
(3) 学業と進路	学ぶことや働くことについての意義を理解し、進学や職業人として生きることを主体的に考え、自己決定する活動

第3章

資料編

各学校での実践の参考に
していただけるよう、以下の内
容を掲載しています。

- ・ 学級ごとの学級活動年間指
導計画 1～3 学年（記入例）
- ・ 特別活動全体計画（例）
- ・ 学年ごとの学級活動年間指
導計画 1～3 学年（例）
- ・ 学級ごとの学級活動年間指
導計画 1～3 学年（枠）
- ・ 学級活動指導案 1～3 学年
（例）

記入例 1年〇組		特別活動の目標		望ましい集団活動を通して健全な生活習慣を確立し、集団の一員としての自覚と規律ある生活態度を育てる																										
		第1学年		学級活動の目標		学級活動を通して健全な生活習慣を確立し、互いに協力する態度と、集団生活の向上に資する個々の能力を育てる																								
				学級活動の重点項目		(1)ア、イ		(2)オ、キ		(3)ア																				
		1年〇組学級活動の目標		互いを認め合う親和的な人間関係を形成し、一人一人が生活向上を目指して生き生きと活動できる学級を育成する																										
1学期						2学期						3学期																		
重点目標 ◎ 項目	(1)		◎学級組織を確立させ、ルールに沿った生活を確立させる ・イ 学級内の組織づくりや仕事の分担処理						重点目標 ◎ 項目	(1)		◎生活上の問題に気付き、自ら解決しようとする態度を育てる ・ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決						重点目標 ◎ 項目	(1)		◎多様な集団による活動への参画意識を高める ・ウ 学校における多様な集団の生活の向上									
	(2)		◎中学校生活への不安や悩みを解消し、学校への望ましい適応を図る ・ア 思春期の不安や悩みとその解決							(2)		◎一人一人の心のつながりを強め、望ましい人間関係を育てる ・オ 望ましい人間関係の確立							(2)		◎自分たちの生活環境の最適化に努める態度を育てる ・キ 心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成									
	(3)		◎学ぶことへの理解を深め、学習習慣の確立を図る ・ア 学ぶことと働くことの意義の理解							(3)		◎自ら立てた学習計画に基づいて予習・復習に取り組む態度を育てる ・イ 自主的な学習態度の形成と学校図書館の利用							(3)		◎進路情報を進んで活用し、進路適性への理解を深める ・ウ 進路適性の吟味と進路情報の活用									
	月	計	題材・活動		活動内容		関連・統合			指導実践の記録		月	計	題材・活動		活動内容			関連・統合		指導実践の記録		月	計	題材・活動		活動内容		関連・統合	
		(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)					(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)					(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)			
4	1	中学生になって		ア			オ	学級活動(1) 学級目標決めでは、自己紹介で話した学校生活への希望をまとめる形で話し合いができた。 体育祭への参加意識を話し合う場では、学級委員Rを中心とした男子生徒たちの活発な意見交換があった。上級生からの指導に応えるための行動目標として、大きな返事、元気な拍手、素早い行動の三つが決定した。	8	15	夏休みの反省と2学期の目標				ア			学級活動(1)	1	29	冬休みの反省と3学期の目標				エ			学級活動(1)		
	2	中学校の生活と約束		ウ			ア		16	16	気持ちの通った友達関係		イ						30	将来の生き方と進路計画				ウ						
	3	学級目標づくり		イ					9	17	新生徒会の発足		ウ							31	学習習慣の見直し				ウ	イ				
	4	学級組織づくり		イ					18	18	学級文化の創造		エ							32	先輩への感謝の思い				ウ					
	5	生徒会活動への参画		ウ			イ		19	19	防災安全学習		キ							33	1年間の反省				イ					
5	6	学級一丸となって		ア			イ	学級活動(2) 学校のきまりや生徒会の機構、授業規律に関する指導を継続して行うことにより、中学校生活への適応が図られた。 防災や保健に関する指導では、話し合い活動を通して他者の考え方に触れながら、最終的には個々の意志決定を促すことができた。	10	20	自己の特性を知る				オ			学級活動(2)	3	34	春休みの過ごし方				ア				学級活動(2)	
	7	学級の成長をたしかめる		ア					21	21	学級財産の確認		ウ							35	学級解散式				オ					
	8	主体的な学習態度				ア			22	22	後期学級組織づくり		イ																	
6	9	野外活動教室へ向けて		オ			イ	学級活動(3) 教科担任制で学ぶこと、定期テストへ向けての取り組み方など、中学校の学習への適応を中心とした指導を継続して行った。 夏休みの学習計画の指導を行い、課題の終了予定日を設定させた。生活時程を計画させたところ、女子Kは、1日8時間の学習、男子Rはノーテレビデーの設定を行った。	11	23	ボランティア活動の意義				カ															
	10	防災安全教室		キ					24	24	お互いのよさを見つける				オ															
	11	望ましい生活習慣		ケ					25	25	生徒会活動への貢献		イ																	
7	12	1学期の反省		ア				学級活動(3) 夏休みの学習計画の指導を行い、課題の終了予定日を設定させた。生活時程を計画させたところ、女子Kは、1日8時間の学習、男子Rはノーテレビデーの設定を行った。	12	26	異性との協力と思いやり				ク															
	13	夏休みの計画				オ			27	27	2学期の反省		ア																	
	14	保健指導		キ			ア		28	28	有意義な冬休みの生活				ア															
1学期の成果 ○ 課題	(1)	○体育祭へ向けての話し合いで、リーダーを中心とした前向きな発言が学級全体の意識の向上につながり、学級組織を生かした話し合い活動が形成されていった。 ●特定のリーダー以外の生徒からの発言が少ない。学級全体で課題に取り組む姿勢をもたせたい。						1学期の成果 ○ 課題	(1)	○						3学期の成果 ○ 課題	(1)	○												
	(2)	○学校生活への不安や疑問に対し、ていねいに回答することにより、望ましい適応が図られた。学校生活のルールが浸透し、学校の一員としての自覚が定着した。 ●生徒同士の望ましい人間関係の確立が課題。思いやりや協力を行動で示すための意図的な指導が必要である。							(2)	○							(2)	○												
	(3)	○中学校の学習に関するガイダンスを行い、教科担任制で学ぶことの意義を理解させることができた。 ●自主的に学ぶことへの関心を高め、教科の分け隔てなく意欲的に学習に取り組む態度を培うことが必要である。							(3)	○							(3)	○												

記入例

2年〇組

第2学年	特別活動の目標	望ましい集団活動を通して中堅学年としての自覚を育て、よりよい学校生活に参画しようとする態度を育てる
	学級活動の目標	学級活動を通して望ましい人間関係を形成し、学校生活へ参画しようとする自主的、実践的な態度を育てる
	学級活動の重点項目	(1) ア、ウ (2) ウ、オ (3) イ
2年〇組学級活動の目標		自分たちの課題に気づき、主体的に解決し、よりよい集団生活づくりを目指す学級を育成する

1学期						2学期						3学期												
重点目標 ◎ 項目	(1)	◎学級への所属意識をもち、学級づくりに参画しようとする態度を育てる				重点目標 ◎ 項目 <th rowspan="3">(1)</th> <td colspan="4">◎学校生活を充実するための約束や目標を、自分たちで決定する能力を育てる</td> <th rowspan="3">重点目標 ◎ 項目</th> <th rowspan="3">(1)</th> <td colspan="4">◎学級集団の力を全校の活動に生かそうとする態度を育てる</td>	(1)	◎学校生活を充実するための約束や目標を、自分たちで決定する能力を育てる				重点目標 ◎ 項目	(1)	◎学級集団の力を全校の活動に生かそうとする態度を育てる										
		・イ 学級内の組織づくりや仕事の分担処理						・ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決						・ウ 学校における多様な集団の生活の向上										
		◎互いに理解し合い協力して、望ましい人間関係を構築しようとする態度を育てる						◎集団生活や社会生活におけるルールやマナーの意義を定着させる						◎登下校時の安全への留意と、健康の保持増進を目指す態度を育てる										
・オ 望ましい人間関係の確立				・ウ 社会の一員としての自覚と責任				・キ 心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成																
◎主体的に学ぶ態度と習慣を身に付けさせる				◎進路意識をもって学校生活に臨む態度を育てる				◎進路に関する情報を意欲的に収集し、活用しようとする態度を育てる																
・イ 自主的な学習態度の形成と学校図書館の利用				・オ 主体的な進路の選択と将来設計				・ウ 進路適性の吟味と進路情報の活用																
月	計	題材・活動	活動内容			関連・統合			指導実践の記録			月	計	題材・活動	活動内容			関連・統合			指導実践の記録			
			(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)				(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	
4	1	2年生になって		ア								8	15	夏休みの反省と2学期の目標			イ							
	2	学級目標づくり		イ								9	16	自己と集団をみつめなおす			イ							
	3	学級組織づくり		イ								17	生徒会新リーダーへの協力			ウ								
	4	生徒会活動への参画		ウ				イ				18	学級文化の創造			エ								
5	5	中堅学年としての行事への参画意識		ウ				イ				19	自立への一歩			ウ								
	6	学級の成長を確かめる		オ								20	前期活動反省			オ								
	7	学ぶことの意義				ア			イ			10	後期活動へ向けて			ア								
	8	班活動の充実		オ				イ				21	後期学級組織決め			イ								
6	9	生活習慣の改善				ケ						22	ボランティア活動の理解			カ								
	10	防災安全教室				キ			オ			11	私の夢と希望					ウ						
	11	将来の生き方と職業							オ			23	生徒会活動への貢献			ウ								
7	12	1学期の反省		ア					イ			24	心と体の成長			ク								
	13	夏休みの計画							イ			25	2学期の反省			ウ								
	14	保健指導				キ						26	有意義な冬休みの生活					イ						
1学期の成果 ○ 課題	(1)	○学級集団への所属感を醸成し、学校生活への期待感を抱かせることにより、学級編制替えによる集団不適應を未然に防ぐことができた。					1学期の成果 ○ 課題	(1)	○					3学期の成果 ○ 課題	(1)	○								
	●学級全体をリードする立場の生徒が実力を発揮しきれていない。学級会形式の話し合いで、発言の機会を多くもたせることが課題である。					(1)		●					(1)		●									
	○体育祭へ向けた話し合いにおいて個々の決意を表明させ、事後の活動では、級友の活躍を互いに紹介し合うことにより、学級内の人間関係の形成に役立てられた。					(2)		○					(2)		○									
●個々の生徒がもつ悩みや生活上の問題について、互いの理解が足りない。生徒同士の交流を通し、互いに理解し合える人間関係の構築を進めたい。					(2)	●					(2)	●												
○家庭学習の内容の吟味、部活動との両立を重点として指導したことにより、自らの学力へ関心をもたせ、向上させようとする意欲が高められた。					(3)	○					(3)	○												
●学習の難易度を克服することや、個性を伸ばすために主体的に学ぶことへの関心・意欲が足りない。進路意識をもたせ、将来のために何を学ぶかを考えさせたい。					(3)	●					(3)	●												

記入例

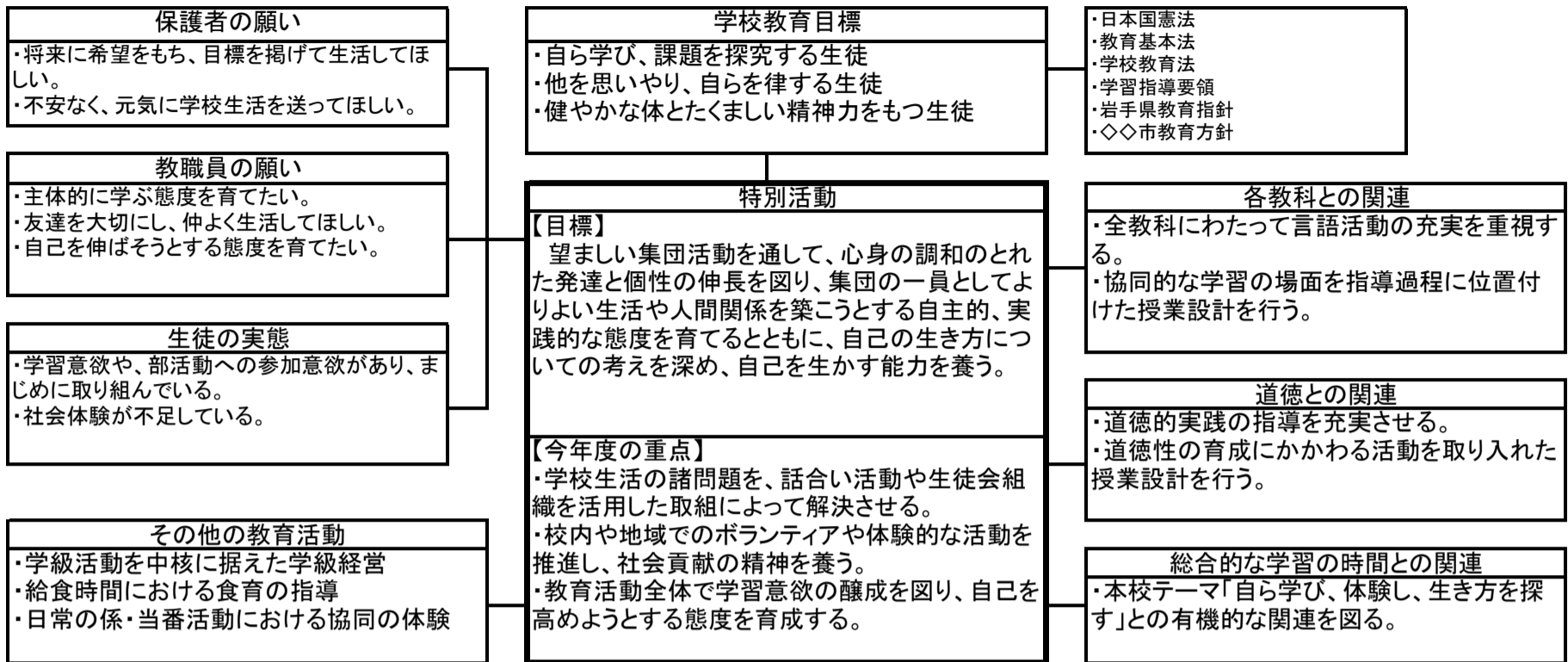
3年〇組

第3学年	特別活動の目標	望ましい集団活動を通して将来への見通しをもたせ、よりよい学校生活を作ろうとする態度と実践力を育てる
	学級活動の目標	学級活動を通して役割を自覚し、互いに協力しながら学校生活を向上させ、将来へ向かって自己を生かそうとする態度を育てる
	学級活動の重点項目	(1) ウ (2) オ (3) イ、オ
3年〇組学級活動の目標		生徒一人一人が集団生活の向上に参画し、将来の希望や目標に向かって高め合う学級を育成する

1学期											2学期											3学期										
重点目標 ◎/項目	◎最高学年として学校を牽引する意欲をもった集団を育てる			◎/項目	◎互いのよさを認め合い、自他の理解しようとする態度を高める			◎/項目	◎母校や下級生への感謝の気持ちを、集団活動によって示そうとする態度を育てる																							
	・イ 学級内の組織づくりや仕事の分担処理				・イ 自己及び他者の個性の尊重と理解				・ウ 学校における多様な集団の生活の向上																							
◎/項目	◎校外での生活に留意し、社会の一員として自覚ある態度を育てる			◎/項目	◎上級学校で学ぶことの意義を、将来の希望に重ね合わせて考える態度を育てる			◎/項目	◎入学試験や卒業式などの行事に、万全の体調で臨もうとする態度を身に付けさせる																							
	・ウ 社会の一員としての自覚と責任				・エ 望ましい勤労観・職業観の形成				・キ 心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成																							
◎/項目	◎上級学校を知る機会を生かし、主体的に進路を考える態度を育てる			◎/項目	◎将来の生き方を具体的に考え、進路決定を自らの意志で行う態度を育てる			◎/項目	◎主体的な進路の選択と将来設計																							
	・ウ 進路適性の吟味と進路情報の活用																															
月計	題材・活動	活動内容			関連・統合			指導実践の記録	月計	題材・活動	活動内容			関連・統合			指導実践の記録	月計	題材・活動	活動内容			関連・統合			指導実践の記録						
		(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)				(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)				(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)							
4	1 最高学年になって		オ		イ			学級活動(1)	8	13 夏休みの反省と2学期の展望		オ					学級活動(1)	1	29 受検期の生活		キ					学級活動(1)						
	2 修学旅行の約束		ア			ウ	学級活動(1)	14 これからの私たちを考える			イ						学級活動(1)		30 面接試験の受け方			ウ					学級活動(1)					
	3 生徒会活動への参画		ウ					学級活動(1)		15 高校体験入学で学んだこと			ウ						学級活動(1)	31 有終の美を飾るため		ウ						学級活動(1)				
	4 リーダー学年として		ウ			イ		学級活動(1)		16 先輩らしさを考える		ウ							学級活動(1)	32 卒業文集の制作		オ						学級活動(1)				
5	5 年間を見通した学習計画				イ			学級活動(2)	9	17 学級文化の創造		エ					学級活動(2)	2	33 将来の自分へ、みんなへ		イ					学級活動(2)						
	6 進路希望とその実現へ向けて				ウ			学級活動(2)		18 学習方法の見直し		イ					学級活動(2)		34 後輩へのメッセージ		ウ					学級活動(2)						
	7 生活習慣病と食生活		ケ					学級活動(2)		19 わたしたちの財産		オ							学級活動(2)	35 学級解散式		オ					学級活動(2)					
6	8 防災安全教室		キ		イ			学級活動(2)	10	20 後期学級組織決め		イ					学級活動(2)															
	9 保健指導		キ					学級活動(2)		21 将来の夢と希望		エ																				
	10 高校の先輩から学ぶ				ア		ウ	学級活動(3)		22 模擬面接試験の準備		オ																				
7	11 高校説明会を終えて				ウ			学級活動(3)	11	23 ボランティア活動への参加		カ					学級活動(3)															
	12 有意義な夏休みの生活				オ		ウ	学級活動(3)		24 不安や焦りの克服		ア																				
1学期の成果 ○/課題	(1) ○最高学年として臨む学校行事への具体的な行動目標を考えさせることにより、凝集性を高め、学級の連帯感をもたせることができた。 ●学級組織を活用した活動の場面に工夫が必要である。班や係の活動場面は多かったが、日常活動を行っている委員会や生徒会役員の生徒を活躍させる場面をもたせたい。									1学期の成果 ○/課題	(1) ○									3学期の成果 ○/課題	(1) ○											
	(2) ○社会の一員としてのマナーや規律を指導することができた。修学旅行や高校説明会での、外部の方々と触れ合う場面で役だったという感想があった。 ●教師からの指導事項が多く、生徒が自らの意志を自己決定する場面が少なかった。次学期は、身に付けたマナー等を望ましい人間関係づくりに生かす機会が必要である。										(2) ○										(2) ○											
	(3) ○高等学校の先生や先輩たちから直に話を聞く機会により、進路意識が高められた。また、事後の活動で行った感想発表や交流によって体験を共有させることができた。 ●高等学校への理解を深めることはできたが、自分自身の将来像を考えさせる機会が少なく、高等学校で学ぶことの意義をとらえられていない。										(3) ○										(3) ○											
	(1) ○										(1) ●										(1) ●											

平成〇〇年度 特別活動全体計画

〇〇市立〇〇中学校



学級活動	生徒会活動	学校行事
【目標】 学級活動を通して、望ましい人間関係の形成を図り、学校生活や社会生活に直面する諸問題を主体的に解決する能力を養う。 【内容】 (1) 学級や学校の生活づくり ア、イ、ウ (2) 適応と成長及び健康安全 ア、イ、ウ、エ、オ、カ、キ、ク、ケ (3) 学業と進路 ア、イ、ウ、エ、オ ●第1学年の重点 (1) ア、イ (2) オ、キ (3) ア ●第2学年の重点 (1) ア、ウ (2) ウ、オ (3) イ ●第3学年の重点 (1) ウ (2) オ (3) イ、オ 【詳細】 (1) 学級や学校の生活づくり 1学年 13時間 2学年 12時間 3学年 8時間 (2) 適応と成長及び健康安全 1学年 14時間 2学年 15時間 3学年 15時間 (3) 学業と進路 1学年 8時間 2学年 8時間 3学年 12時間 ※学級担任を中心に、学年の教師集団が指導にあたる。適宜、学年外の職員も指導に協力する	【目標】 生徒会活動を通して、集団や社会の一員としてよりよい生活づくりに資する能力を養う。 【内容】 (1) 生徒会の計画や運営 ア、イ、ウ、エ、オ ※本年度重点 ア、エ (2) 異年齢集団による交流 体育祭組活動、縦割り学級合唱練習 (3) 生徒の諸活動についての連絡調整 体育館使用割当て、部活動施設利用割当て (4) 学校行事への協力 新入生を迎える会、3年生を送る会の企画・運営、地域の方々への学校行事招待状発送 (5) ボランティア活動などの社会参加 委員会と有志による社会貢献活動、総合的な学習の時間との連携 【詳細】 ・生徒総会は年2回、代議員会と委員会は月1回第2水曜日の定例会のほか、適宜開催 ・生徒会役員会は、委員会と定例会と同日開催のほか、適宜開催 ・指導者は生徒指導部、生徒会担当を中心に全職員であたる	【目標】 学校行事を通して、集団や地域社会への所属感と連帯感を深め、よりよい校風を築こうとする態度を育てる。 【内容】 (1) 儀式的行事 始業式、入学式、終業式、卒業式、終了式、離任式 (2) 文化的行事 新入生を迎える会、文化祭、合唱コンクール、3年生を送る会、芸術鑑賞教室 (3) 健康安全・体育的行事 交通安全教室、防災安全教室、保健指導、身体測定、健康診断、避難訓練、体育祭 (4) 旅行・集団宿泊的行事 野外体験学習、宿泊体験学習、修学旅行 (5) 勤労生産・奉仕的行事 職場体験、農業体験、全校クリーン作戦 ※職場体験、農業体験は総合的な学習の時間と連携 ※体育祭、文化祭、合唱コンクールは地域への公開の場として意義ある活動を行うこととする。 【詳細】 1学年 45時間 2学年 47時間 3学年 50時間 ※職場体験学習は2学年において、農業体験学習は3学年において実施。事前学習と事後の発表会は総合的な学習の時間とする。 ※3学年では、修学旅行、進路説明会や講演会、高校説明会などを含む計画

【評価】以下の観点に照らし合わせ、学級活動・生徒会活動・学校行事それぞれの内容から評価規準を作成して評価する

観点	集団生活や生活への関心・意欲・態度	集団や社会の一員としての思考・判断・実践	集団活動や生活についての知識・理解
趣旨	学級や学校の集団や自己の生活に関心を持ち、望ましい人間関係を築きながら、積極的に集団活動や自己の生活の充実に取り組もうとする。	集団や社会の一員としての役割を自覚し、望ましい人間関係を築きながら、集団活動や自己の生活の充実と向上について考え、判断し自己を生かして実践している。	集団活動の意義、よりよい生活を築くために集団として意見をまとめる話し合い活動の仕方、自己の健全な生活の在り方などについて理解している。

※指導要録には、評価規準に照らして、十分満足できる状況にあると判断される場合に、○印を記入する。

第1学年 学級活動 年間指導計画(例)		第1学年特別活動の目標		望ましい集団活動を通して健全な生活習慣を確立し、集団の一員としての自覚と規律ある生活態度を育てる																									
		第1学年学級活動の目標		学級活動を通して健全な生活習慣を確立し、互いに協力する態度と、集団生活の向上に資する個々の能力を育てる																									
		第1学年学級活動の重点項目		(1)ア、イ (2)オ、キ (3)ア																									
1学期										2学期										3学期									
月	時	主な行事	計	題材・活動		活動内容			月	時	主な行事	計	題材・活動		活動内容			月	時	主な行事	計	題材・活動		活動内容					
				(1)	(2)	(3)	(1)	(2)					(3)	(1)	(2)	(3)	(1)					(2)	(3)						
4	5	入学式	1	中学生になって	ア	担任や学級の仲間とのふれ合いを通して中学校生活への不安を解消する	8	1	始業式	15	夏休みの反省と2学期の目標	ア	夏休みの計画が実行できたのかを反省し、2学期の新たな目標への意欲を高める	1	2	始業式	29	冬休みの反省と3学期の目標	エ	1年生のうち個人として達成したいことを明らかにし、3学期の生活に希望をもつ									
		新入生を迎える会	2	中学校の生活と約束	ウ	学校内のきまりや約束を理解し、学校の一員としての自覚を育てる			職業インタビュー	16	気持ちの通った友達関係	イ	相手を思いやりながらも、自分の考えを伝え、お互いに理解し合う態度を育てる			30	将来の生き方と進路計画	ウ	総合的な時間に作成したレポートを活用して将来の生き方に関する意見を交流し合う										
		交通安全教室 応援歌練習	3	学級目標づくり	イ	生徒個々の願いを集約し、学級として目指す姿を明らかにする			芸術鑑賞教室	17	新生徒会の発足	ウ	生徒会活動の一員として責任ある態度で演説会、投票に臨む姿勢を育てる			31	学習習慣の見直し	イ	期末テストへ向けた計画の進み具合や学習方法を交流し合い、自主的な学習の改善を図る										
		家庭訪問	4	学級組織づくり	イ	学級役員の選出を通して、自分たちの学級への所属意識を育てる			生徒会役員選挙	18	学級文化の創造	エ	文化祭活動を通して男女の協力を図り、集団の価値を高めるための意識をもつ			32	先輩への感謝の思い	ウ	卒業式に贈呈するメッセージカードの準備を通して、お世話になった先輩への思いを個々にまとめる										
		生徒総会	5	生徒会活動への参画	ウ	生徒会の機構を理解し、議案審議を通して生徒会活動への参画意識を高める			防災安全学習	19	防災安全学習	キ	避難訓練へ向けて、災害時の避難方法を様々な場面を想定して確認する			33	1年間の反省	イ	学級目標の反省を、行事と日常生活のそれぞれの側面から話し合い、1年間の成果を確認する										
5	3	体育祭	6	学級一丸となって	ア	学級で臨む初めての行事で、自分たちの目指す姿を実現させる意欲をもつ	10	3	避難訓練	20	自己の特性を知る	オ	将来の職業や進学についての適性を理解し、進路学習への意欲へとつなげる	3	2	卒業式	34	春休みの過ごし方	ア	進級前の準備期間として、有意義な春休みが過ごせるよう、課題意識をもつ									
		中間テスト	7	学級の成長をたしかめる	ア	体育祭を通しての成果と課題を振り返り、学級目標の達成に迫ることができたのかを確認する			文化祭、合唱コンクール	21	学級財産の確認	ウ	前期の活動の集大成として臨んだ行事で得られた成果を振り返り、後期の活動へつなげる			35	学級解散式	オ	学級の仲間と過ごした思い出を学級内で交流し合い、次年度への希望をもつ										
		中間テスト	8	主体的な学習態度	イ	小学校との学習方法の違いを理解し、自主的な学習を進めるための学習計画の大切さに気付く			中間テスト	22	後期学級組織づくり	イ	前期の活動の成果を踏まえ、新たな学級組織への挑戦の気持ちをもつ																
6	3	野外活動教室	9	野外活動教室へ向けて	オ	第2次班での活動を通して、よりよい集団づくりを進め、学級の活性化につなげる	11	3	全校クリーン作戦	23	ボランティア活動の意義	カ	全校クリーン作戦への参加態度の指導を通して、ボランティア活動への理解を深める																
		避難訓練	10	防災安全教室	キ	地震など災害時の避難方法や、火災などの非常時における適切な行動について学ぶ			お互いのよさを見つける	24	お互いのよさを見つける	オ	級友の良い面に共感し、賞賛や感謝の気持ちを伝え合う																
		期末テスト	11	望ましい生活習慣	ケ	睡眠や栄養摂取への理解を深め、健全な生活を送るための正しい知識を身に付ける			生徒会活動への貢献	25	生徒会活動への貢献	イ	生徒会の前期の活動を反省するとともに、後期の議案への疑問や提案を集約する																
7	3	教育相談 期末大清掃	12	1学期の反省	ア	1学期の個人目標と、学級目標に沿った反省を行い、交流し合うことで成果を振り返る	12	3	教育相談 生徒総会	26	異性との協力と思いやり	ク	男女の身体発達や精神の発達の相違を知ることにより、思いやりの気持ちをもつ																
		期末面談	13	夏休みの計画	オ	充実した夏休みを過ごすことができるように計画性をもって学習、生活に臨む準備を行う			期末大清掃 期末面談	27	2学期の反省	ア	学級目標、個人目標の達成が図られたのかを振り返り、成果を確かめ合う																
		学期末集会	14	保健指導	キ	アルコールが若年の人体に及ぼす影響を正しく理解し、正しい判断力を身に付ける			学期末集会 終業式	28	有意義な冬休みの生活	ア	冬休みのきまりを確認し、健康で安全な生活ができるような生活の実践を約束し合う																

※下線は学年の重点項目

※下線は学年の重点項目

※下線は学年の重点項目

第2学年 学級活動 年間指導計画(例)		第2学年特別活動の目標			望ましい集団活動を通して中堅学年としての自覚を育て、よりよい学校生活に参画しようとする態度を育てる																			
		第2学年学級活動の目標			学級活動を通して望ましい人間関係を形成し、学校生活へ参画しようとする自主的、実践的な態度を育てる																			
		第2学年学級活動の重点項目			(1) ア、ウ			(2) ウ、オ			(3) イ													
1学期					2学期					3学期														
月	時	主な行事	計	題材・活動	活動内容			月	時	主な行事	計	題材・活動	活動内容			月	時	主な行事	計	題材・活動	活動内容			題材・活動のねらい
					(1)	(2)	(3)						(1)	(2)	(3)						(1)	(2)	(3)	
4	4	始業式・入学式	1	2年生になって	ア	学級編制替えに伴う不安を乗り越え、2年生としてよりよい学校生活を作ろうとする決意を抱く	8	1	始業式	15	夏休みの反省と2学期の目標	イ	夏休みの目標が果たされたのかを振り返り、反省をもとに新学期への展望をもつ	1	2	始業式	29	冬休みの反省と3学期の目標	ア	新年の抱負の交流を通して2年生のうちに達成させたいことを明らかにし、3学期の目標を立てる				
		新入生を迎える会	2	学級目標づくり	イ	一人一人が抱いた目指す学級像を話し合いによって集約し、学級目標としてまとめる			イ	学級のよさを考え、意見を交流し合うことにより、相互理解を図る	30	上級学校について知る	イ			上級学校の校種や、入試制度、調査書の内容などを調べ、今後の進路決定の参考にする								
		家庭訪問	3	学級組織づくり	イ	学級役員等の選出を通して、個々の役割を自覚し、学級への貢献を決意する			ウ	生徒会役員選挙に、中堅学年として参加する意義を確認する	31	先輩への思いをこめて	ウ			在校生のリーダー学年として、卒業する3年生に対する尊敬の念をもつ								
		生徒総会	4	生徒会活動への参画	ウ	中堅学年として生徒総会の議案に対する意見を進んで発表し、総会に臨む態度を育てる			エ	文化祭活動の活性化と、学級の成長を計るための行動目標を立て、実践しようとする態度を育てる 宿泊体験学習へ向け、自分たちでつくった約束を実行することにより、成長しようとする意欲をもつ	32	友情と思いやり	イ			日ごろから一緒に生活している級友の悩みや意見を交流し合い、相互に理解を深める								
5	4	体育祭	5	中堅学年としての行事への参画意識	ウ	体育祭において一人一人が自分の役割を確認し、どのような協力ができるのかを考える	9	4	生徒会役員選挙	18	学級文化の創造	エ	文化祭活動の活性化と、学級の成長を計るための行動目標を立て、実践しようとする態度を育てる 宿泊体験学習へ向け、自分たちでつくった約束を実行することにより、成長しようとする意欲をもつ	2	3	修学旅行説明会	31	先輩への思いをこめて	ウ	在校生のリーダー学年として、卒業する3年生に対する尊敬の念をもつ				
			6	学級の成長を確かめる	オ	体育祭における学級の成果と課題を明確にし、学級目標の達成へどれだけ近づけたのかを確認する 2年生になって初の定期テストへ向け、お互いが学ぶ意義を確認し合う			ウ	生徒会役員選挙、文化祭、宿泊研修での成果を確認し、後期の活動への新たな意欲を醸成する	33	1年間の反省	ア			学級目標の達成度を確認し、学級としての成長を評価する								
			7	学ぶことの意義	ア	第1次班の活動を反省し、学級の向上のためにどのような班編制をすればよいのかを考える			ア	先輩から活動を引き継ぐ後期からの自分たちの活動を見直し、希望をもつ	34	春休みの過ごし方	イ			最高学年への進級を控え、春休み中に行うべき学習面での備えについて考える								
		中間テスト	8	班活動の充実	オ	第1次班の活動を反省し、学級の向上のためにどのような班編制をすればよいのかを考える			イ	生徒会活動と学級とをつなぐ委員の選出を通して、学級の後期の方針を固める	35	学級解散式	オ			学級での個々の活躍を振り返り、全員の発言とともに1年間の締めくくりをする								
6	3	避難訓練	9	生活習慣の改善	ケ	生活習慣の乱れから生じる睡眠不足、朝食の欠食を解消するための生活リズムを確立させる	11	3	全校クリーン作戦	23	ボランティア活動の理解	カ	縦割り組の中堅学年として、学級一丸となって全校クリーン作戦へ臨む姿勢をもつ	3	2	卒業式	34	春休みの過ごし方	イ	最高学年への進級を控え、春休み中に行うべき学習面での備えについて考える				
			10	防災安全教室	キ	非常時の行動の仕方について事例をもとに考え、安全への意識を高める			ウ	自分が将来実現させたい夢について考え、必要な技能や経験は何かを調べる	35	学級解散式	オ			学級での個々の活躍を振り返り、全員の発言とともに1年間の締めくくりをする								
		期末テスト	11	将来の生き方と職業	オ	職場体験へ向け、各自で調査したことを交流し合い、			ウ	前期生徒会との引継ぎが行われる生徒総会において、新リーダー学年となる自分たちの役割を考える														
7	3	教育相談 期末大清掃	12	1学期の反省	ア	1学期の学習、生活、行事を振り返り、学級目標、個人目標への反省を行う	12	3	教育相談 生徒総会	26	心と体の成長	ク	性に関する望ましい理解を促し、異性への関わり方や性情報への正しい対処ができるようにする			修了式								
		期末面談	13	夏休みの計画	イ	長期休業中も自らが立てた生活、学習の計画を実行する実践力を育てる			ウ	2学期の生活を振り返り、達成できたことと次学期の課題を明らかにする														
		学期末集会 終業式	14	保健指導	キ	煙草が人体に及ぼす害や影響を理解させ、心と体の健全な成長を促す			イ	冬休みの学習・生活の計画を基にした規則正しい生活と自主的な学習の取組ができるようにする														

※下線は学年の重点項目

※下線は学年の重点項目

※下線は学年の重点項目

第3学年 学級活動 年間指導計画(例)				第3学年特別活動の目標				望ましい集団活動を通して将来への見通しをもたせ、よりよい学校生活を作ろうとする態度と実践力を育てる																				
				第3学年学級活動の目標				学級活動を通して役割を自覚し、互いに協力しながら学校生活を向上させ、将来へ向かって自己を生かそうとする態度を育てる																				
				第3学年学級活動の重点項目				(1) ウ				(2) オ				(3) イ、オ												
1学期							2学期							3学期														
月	時	主な行事	計	題材・活動	活動内容			題材・活動のねらい	月	時	主な行事	計	題材・活動	活動内容			題材・活動のねらい	月	時	主な行事	計	題材・活動	活動内容			題材・活動のねらい		
					(1)	(2)	(3)							(1)	(2)	(3)							(1)	(2)	(3)			
4		始業式	1	最高学年になって	オ		中学校生活最後の一年で実現させたいことを話し合い、学級への貢献の意欲を高める	8	1	始業式	13	夏休みの反省と2学期の展望	オ		夏休みの生活記録から課題を見つけ、2学期の学習への長期的な見通しをもつ	1	2	始業式	29	受検期の生活	キ		心身の健康を保つための生活習慣づくりについて学習し、受検期の生活に留意する態度を身に付ける					
		新入生を迎える会	2	修学旅行の約束	ア		修学旅行の行動目標の達成を通して、学級の課題を解決させようとする意欲を高める					農業体験学習	14	これからの私たちを考える	イ				卒業までの学校生活で、どのような学級財産を残したいのか意見交流し、相互に理解を深める			面接試験の受け方	30	面接試験の受け方	ウ		面接試験の模擬練習へ、これまでの反省を踏まえてどのように臨むかを考え、具体的な対策を考える	
		修学旅行生徒総会	3	生徒会活動への参画	ウ		最上級生として生徒会活動を活性化させる意欲をもち、生徒総会への参画意識を高める					芸術鑑賞教室	15	高校体験入学で学んだこと	ウ				高校体験入学へ参加した生徒からの発表をもとに、進路適正について吟味する			有終の美を飾るため	31	有終の美を飾るため	ウ		卒業式で最高の姿を示すために、目標をもって練習へ向かう姿勢を育てる	
5	3	体育祭	4	リーダー学年として	ウ		最高学年として、体育祭組団を牽引するための行動目標を立て、個々の役割を確か合う	9	4	生徒会役員選挙	16	先輩らしさを考える	ウ		生徒会の新リーダー選出にあたり、先輩として下級生を温かく見守り、支援する方法について考える	2	3	三送会	32	卒業文集の制作	オ		中学校生活の思い出と将来への決意を交流し合い、何を言葉に残すかを考える					
		中間テスト	5	年間を見通した学習計画	イ		年間の各種テストの日程や、進路に関わる動きを確認し、主体的な学習態度と進路への意識を高める					学級文化の創造	17	学級文化の創造	エ				中学校最後となる文化祭を通して自分たらしさを表現するための行動指針を立てる			将来の自分へ、みんなへ	33	将来の自分へ、みんなへ	イ		成人を迎える5年後の自分と仲間に対する手紙を書き、卒業後の再会へ向けて希望をもつ	
		生活習慣病と食生活	7	生活習慣病と食生活	ケ		生活習慣病と食生活の関わりについての正しい知識を身に付け、健康への理解を深める					文化祭、合唱コンクール	18	学習方法の見直し	イ				各種テストが行われる中、効果的な学習方法について、意見を交流し合いながら明らかにする	3	2	卒業式	34	後輩へのメッセージ	ウ		生徒会活動、部活動などで自分たちを支えてくれた下級生たちへの感謝の気持ちを高める	
避難訓練	8	防災安全教室	キ		非常時の行動の仕方について事例をもとに考え、安全への意識を高める			後期学級組織決め	19	わたしたちの財産	オ		中学校生活最後の文化祭、合唱コンクールで、自分たちの目標が達成できたのかを確認し合う			学級解散式	35	学級解散式	オ				級友や先生たちへの感謝の気持ちを高め、卒業後の進路先への新たな一歩を踏み出す決意をする					
進路相談	9	保健指導	キ		薬物の危険と人体に及ぼす影響について知るとともに、決して乱用してはならないという強い意志をもつ			教育相談	20	後期学級組織決め	イ		卒業までの学級を運営するための組織づくりを通して、学級への貢献を促す前向きな姿勢をもつ															
6	3	期末テスト	9	保健指導	キ		薬物の危険と人体に及ぼす影響について知るとともに、決して乱用してはならないという強い意志をもつ			将来の夢と希望	21	将来の夢と希望	エ		卒業後の進路について長期的な見通しを持ち、面接試験で受け答えができるよう準備をする													
		先輩から学ぶ会	10	高校の先輩から学ぶ	ア		先輩からの体験談や現在の学校生活の様子を聞き、交流を通して高校生活への疑問を解消させる			模擬面接試験の準備	22	模擬面接試験の準備	オ		面接試験の態度や受け答えのマナーを学び、過去の事例をもとに応答の仕方を考える													
		教育相談	11	高校説明会を終えて	ウ		高校説明会で得られた情報をまとめ、感想を交えて交流し合い、主体的に進路を考える態度を育てる			全校クリーン作戦	23	ボランティア活動への参加	カ		全校クリーン作戦において、最高学年としてボランティア活動へ参加する姿勢の示し方を考える													
7	3	期末面談	11	高校説明会を終えて	ウ		高校説明会で得られた情報をまとめ、感想を交えて交流し合い、主体的に進路を考える態度を育てる			不安や焦りの克服	24	不安や焦りの克服	ア		進路や学習に関わる不安や、学級生活のストレスについて話し合い、解消のための対策を立てる													
		期末大清掃	12	有意義な夏休みの生活	オ		高校一日体験入学の日程や2学期の進路日程を確認し、主体的に進路選択へ向かう意欲を育てる			生徒会活動への貢献	25	生徒会活動への貢献	ウ		生徒会の新旧交代にあたり、これまでの活動を振り返り、どのような実績を継承させたいのかを考える													
		終業式								生徒総会教育相談	26	青年期の心と性	ク		異性との好ましい関係について考え、お互いを尊重し理解し合う態度を身に付ける													
									期末大清掃	27	2学期の反省	ア		学習、生活、行事における学級や自分自身の成長を振り返り反省する														
									期末面談	28	有意義な冬休みの過ごし方	オ		長期休業を有意義に過ごし、進路関係の様々な準備も滞りなく進められるよう計画を立てる														

※下線は学年の重点項目

※下線は学年の重点項目

※下線は学年の重点項目

1年〇組 学級活動 年間指導計画	第1学年	特別活動の目標	望ましい集団活動を通して健全な生活習慣を確立し、集団の一員としての自覚と規律ある生活態度を育てる
		学級活動の目標	学級活動を通して健全な生活習慣を確立し、互いに協力する態度と、集団生活の向上に資する個々の能力を育てる
		学級活動の重点項目	(1)ア、イ (2)オ、キ (3)ア
	1年〇組学級活動の目標		

1学期										2学期										3学期																														
重点目標 ◎ /項目 ・	(1)	◎									重点目標 ◎ /項目 ・	(1)	◎									重点目標 ◎ /項目 ・	(1)	◎																										
	(2)	◎										(2)	◎										(2)	◎																										
	(3)	◎										(3)	◎										(3)	◎																										
月	計	題材・活動			活動内容			関連・統合			指導実践の記録						月	計	題材・活動			活動内容			関連・統合			指導実践の記録						月	計	題材・活動			活動内容			関連・統合			指導実践の記録					
		(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)									(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)									(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)									
4	1	中学生になって		ア							学級活動(1)						8	15	夏休みの反省と2学期の目標			ア					学級活動(1)						1	29	冬休みの反省と3学期の目標			エ					学級活動(1)							
	2	中学校の生活と約束		ウ															16	気持ちの通った友達関係		イ													30	将来の生き方と進路計画			ウ											
	3	学級目標づくり		イ															17	新生徒会の発足		ウ													31	学習習慣の見直し			イ											
	4	学級組織づくり		イ															18	学級文化の創造		エ													32	先輩への感謝の思い			ウ											
	5	生徒会活動への参画		ウ															19	防災安全学習		キ													33	1年間の反省		イ												
5	6	学級一丸となって		ア							学級活動(2)						10	20	自己の特性を知る			オ					学級活動(2)						3	34	春休みの過ごし方		ア					学級活動(2)								
	7	学級の成長をたしかめる		ア														21	学級財産の確認		ウ														35	学級解散式		オ												
	8	主体的な学習態度				イ													22	後期学級組織決め		イ																												
6	9	野外活動教室へ向けて		オ													11	23	ボランティア活動の意義		カ																													
	10	防災安全教室		キ														24	お互いのよさを見つける		オ																													
	11	望ましい生活習慣		ケ							学級活動(3)								25	生徒会活動への貢献		イ					学級活動(3)																学級活動(3)							
7	12	1学期の反省		ア													12	26	異性との協力と思いやり		ク																													
	13	夏休みの計画				オ												27	2学期の反省		ア																													
	14	保健指導		キ															28	有意義な冬休みの生活			ア																											
1学期の成果 ○ /課題 ●	(1)	○									1学期の成果 ○ /課題 ●	(1)	○									3学期の成果 ○ /課題 ●	(1)	○																										
	(2)	●										(2)	●										(2)	●																										
	(3)	●										(3)	●										(3)	●																										

2年〇組 学級活動 年間指導計画	第2学年	特別活動の目標	望ましい集団活動を通して中堅学年としての自覚を育て、よりよい学校生活に参画しようとする態度を育てる
		学級活動の目標	学級活動を通して望ましい人間関係を形成し、学校生活へ参画しようとする自主的、実践的な態度を育てる
		学級活動の重点項目	(1) ア、ウ (2) ウ、オ (3) イ
	2年〇組学級活動の目標		

1学期										2学期										3学期												
重点 目標 ◎ ／ 項目 ・	(1)	◎									(1)	(2)	◎									(1)	(2)	◎								
		◎											◎											◎								
		◎											◎											◎								
月	計	題材・活動		活動内容			関連・統合			指導実践の記録	月	計	題材・活動		活動内容			関連・統合			指導実践の記録	月	計	題材・活動		活動内容			関連・統合			指導実践の記録
				(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)						(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)						(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	
4	1	2年生になって		ア						学級活動(1)	8	15	夏休みの反省と2学期の目標		イ					学級活動(1)	1	29	冬休みの反省と3学期の目標		ア					学級活動(1)		
	2	学級目標づくり		イ					16			自己と集団をみつめなおす		イ								30	上級学校について知る			エ						
	3	学級組織づくり		イ					9			17	生徒会新リーダーへの協力		ウ								31	先輩への思いをこめて		ウ						
	4	生徒会活動への参画		ウ					18			学級文化の創造		エ									2	32	友情と思いやり		イ					
5	5	中堅学年としての行事への参画意識		ウ					学級活動(2)	10	20	前期活動反省		オ					学級活動(2)	3	34	春休みの過ごし方			イ				学級活動(2)			
	6	学級の成長を確かめる		オ							21	後期活動へ向けて		ア								35	学級解散式		オ							
	7	学ぶことの意義			ア						22	後期学級組織決め		イ																		
	8	班活動の充実		オ							11	23	ボランティア活動の理解		カ																	
6	9	生活習慣の改善		ケ					学級活動(3)	12	24	私の夢と希望			ウ				学級活動(3)													
	10	防災安全教室		キ				25			生徒会活動への貢献		ウ																			
	11	将来の生き方と進路計画			オ																											
7	12	1学期の反省		ア					学級活動(3)	12	26	心と体の成長		ク					学級活動(3)													
	13	夏休みの計画			イ			27			2学期の反省		ウ																			
	14	保健指導		キ				28			有意義な冬休みの生活			イ																		
1学期の成果 ○ ／ 課題 ●	(1)	○									1学期の成果 ○ ／ 課題 ●	(1)	○									3学期の成果 ○ ／ 課題 ●	(1)	○								
	(2)	●										(2)	●										(2)	●								
	(3)	●										(3)	●										(3)	●								

3年〇組 学級活動 年間指導計画		第3学年		特別活動の目標										望ましい集団活動を通して将来への見通しをもたせ、よりよい学校生活を作ろうとする態度と実践力を育てる																																				
		学級活動の目標		学級活動の目標										学級活動を通して役割を自覚し、互いに協力しながら学校生活を向上させ、将来へ向かって自己を生かそうとする態度を育てる																																				
		学級活動の重点項目		(1) ウ			(2) オ			(3) イ、オ																																								
		3年〇組学級活動の目標																																																
1学期													2学期													3学期																								
重点 目標 ◎ ／ 項目 ・	(1)	◎												重点 目標 ◎ ／ 項目 ・	(1)	◎												重点 目標 ◎ ／ 項目 ・	(1)	◎																				
	(2)	◎													(2)	◎													(2)	◎																				
	(3)	◎													(3)	◎													(3)	◎																				
月	計	題材・活動		活動内容			関連・統合			指導実践の記録						月	計	題材・活動		活動内容			関連・統合			指導実践の記録						月	計	題材・活動		活動内容			関連・統合			指導実践の記録								
				(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)											(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)											(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)									
4	1	最高学年になって			オ					学級活動(1)						8	13	夏休みの反省と2学期の展望			オ					学級活動(1)						1	29	受検期の生活			キ					学級活動(1)								
	2	修学旅行の約束			ア												14	これからの私たちを考える			イ												30	面接試験の受け方			ウ													
	3	生徒会活動への参画			ウ												15	高校体験入学で学んだこと			ウ												31	有終の美を飾るため			ウ													
	4	リーダー学年として			ウ												16	先輩らしさを考える			ウ												32	卒業文集の制作			オ													
	5	5	年間を見通した学習計画					イ									17	学級文化の創造			エ												33	将来の自分へ、みんなへ			イ													
	6	6	進路希望とその実現へ向けて					ウ			学級活動(2)						18	学習方法の見直し			イ												34	後輩へのメッセージ			ウ					学級活動(2)								
	7	7	生活習慣病と食生活			ケ											19	わたしたちの財産			オ												35	学級解散式			オ													
	8	8	防災安全教室			キ											20	後期学級組織決め			イ																													
	9	9	保健指導			キ											21	将来の夢と希望			エ																													
	10	10	高校の先輩から学ぶ					ア									22	模擬面接試験の準備			オ																													
	11	11	高校説明会を終えて					ウ			学級活動(3)						23	ボランティア活動への参加			カ																						学級活動(3)							
	12	12	有意義な夏休みの生活					オ									24	不安や焦りの克服			ア																													
																25	生徒会活動への貢献			ウ																														
																26	青年期の心と性			ク																														
																27	2学期の反省			ア																														
																28	有意義な冬休みの過ごし方			オ																														
1学期 の 成果 ○ ／ 課題 ●	(1)	○												1学期 の 成果 ○ ／ 課題 ●	(1)	○												3学期 の 成果 ○ ／ 課題 ●	(1)	○																				
	(2)	●													(2)	●													(2)	●																				
	(3)	○													(3)	○													(3)	○																				

第 1 学年 学級活動指導案

1 題材・活動名	2 学級の実態	3 主項目
1 中学生になって (4月第1週)	<p>中学校への入学に伴う環境の変化や、複数の出身小学校の生徒が混在する集団の変化に慣れず、緊張している様子が多くの生徒に見られる。</p> <p>中学校の雰囲気にも慣れないうちに行事が立て込み、生徒同士の交流も、担任との交流も不足している。よって、親和的な雰囲気の中で互いが触れ合う環境を整え、活動を通して人間関係づくりを行っていくことが必要である。</p>	(2)ア 思春期の不安や悩みとその解決
		4 関連・統合
		(2)オ 望ましい人間関係の確立
5 指導のねらい・留意点		6 評価の観点
<p>自分から級友や教師に話しかけられない生徒にとって、今回のゲーム活動が他との交流をする大きなきっかけとなるようにする。また、活動のまとめ役になった生徒のリーダー性を今後の学級活動にも生かせるよう、活動中の様子の観察に努める。</p> <p>グループ（班）での活動を通して望ましい人間関係を形成し、学校への適応を図るよう活動を支援する。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・学級での生活に対する不安が解消され、級友と気兼ねなく話したり活動したりしている。 ・一人一人が班の活動に参加し、発表者の役割を果たしている。 ・グループ内の級友同士で協力し合って活動を行い、互いを認め合う雰囲気が醸成されている。
7 本時の展開		
段階	活動	指導の留意点
導入	<p>1 ウォーミングアップ 座席隣同士でサイコロトークを行う。</p> <p>2 活動の説明 担任からの説明を聞き、本時の活動を知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・なるべく話し相手から多く話題を引き出すように促す。 ・班での話合いが必要な活動であることに留意させる。
10分	<p style="text-align: center;">班の仲間同士で協力して、学校のことを知ろう</p>	
展開	<p>3 担任紹介クイズ 座席班（5～6名）でグループを作り、担任紹介3択クイズに答える。 クイズが出されたら答えを一つに絞り、発表者が解答する。 担当教科 在校年数 家族構成 出身地 得意なスポーツ など</p> <p>4 ○○中学校クイズ 生徒会役員や部活動顧問の氏名、前年度の大会結果、校舎の配置などに関するクイズに、班の話合いを通して回答する。わかったことをワークシートに記入し、中学校の理解へとつなげる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・解答をするために、必ず全員が答えを出し合うように促す。 ・発表者が一人に固定しないよう留意する。 ・中学校の理解を促すための活動であることを意識付ける。 ・グループ内でのコミュニケーションが円滑に行われているか観察する。
30分		
終末	<p>5 まとめ 担任や中学校についてわかったこと、本時の授業の感想を記入し、班内で交流を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を行った結果、生徒たちが学級や学校に対する不安感がなくなっている様子を評価する。
10分		
8 事後の指導		
<ul style="list-style-type: none"> ・本時の感想を学級通信に掲載し、帰りの会等で生徒に読ませ、他者理解を図る。 ・帰りの会で1日の反省を話し合う場面を設け、「一人一発言」の実践を図る。 ・班組織を決定する際にも、すぐに多数決に頼らず、話合いによる合意形成を目標に取り組ませる。 		

第 1 学年 学級活動指導案

1 題材・活動名	2 学級の実態	3 主項目
11 望ましい生活習慣 (6月第3週)	<p>本学級は、男女ともに肥満率が高い。そのため、運動不足やカロリー摂取量に留意しなければならない。その他にも、給食の際、果物を全く食べなかったり、パンの袋を開けずに、丸ごと返却したりする生徒がいる。偏食による栄養の偏りが懸念される。また、部活動など放課後の活動もあるため、エネルギーの不足が心配である。</p> <p>また、朝食を欠食する生徒は、原因として深夜のおやつなどが考えられ、指導が必要である。</p>	(2)ケ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成
		4 関連・統合
5 指導のねらい・留意点		6 評価の観点
<p>朝食や給食の様子を振り返らせ、欠食や食べ残しがないか調査させる。また、食べられなかった食品の栄養素を調査させることにより、食事の大切さに気付かせたい。</p> <p>肥満の原因として、帰宅後のおやつのお過食や、朝食の欠食が考えられる。間食の内容、量を振り返らせ、食生活の改善を図る。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・自分が食べ残したり、苦手と思ったりしていた食べ物に含まれる栄養について関心をもって調査している。 ・間食の時間と、間食に食べているものを挙げ、摂取カロリーの過多や朝食の欠食の原因になっている状況を明らかにしようとしている。 ・自らの食生活に関心を持ち、改善すべき点を考えている。
7 本時の展開		
段階	活動	指導の留意点
導入	<p>1 給食の残食調査の結果報告</p> <p>事前に行った給食残食調査の結果報告を見て、残食の多いメニューを把握する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・結果報告は、なるべく生徒の手で行わせ(保健委員など)、生徒同士で問題意識を共有させる。
10分	<p>2 残食したものの栄養素の調査</p> <p>資料を参照し、栄養素の調査を行う。ワークシートへ記入する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・養護教諭をゲストティーチャーとし招き、机間指導をしながら質問に答えてもらう。
展開	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p style="text-align: center;">成長期に最適な食生活を考えよう</p> </div>	
35分	<p>3 交流</p> <p>小グループで交流する。自分が苦手な食べ物や食べ残した食べ物に含まれている栄養素と、成長への働きを説明する。また、好き嫌いのない生徒でも、過食などに陥っていないかを説明する。</p> <p>4 まとめ</p> <p>成長期に最適な食生活改善プランを発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・互いの食生活を指摘することが目的ではなく、成長期に必要な栄養素や、食生活の改善に関する知恵を出し合う趣旨を指導する。 ・おやつを食べ過ぎない、朝食を欠食しないことなど食生活に関する内容に留まらず、生活習慣そのものの改善を提案できるまとめとさせる。
5分	<p>5 発表</p> <p>学習したことをグループの代表者がまとめて発表する。</p>	
終末	<p>6 今後の食生活について</p> <p>養護教諭から、今後の食生活の留意点を聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・グループの発表に触れながら、生活習慣の改善のヒントとなる助言を与えるよう心がける。
8 事後の指導		
<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習の様子を学級通信で紹介し、家庭にも、食生活や帰宅後の生活習慣の改善を呼びかける。 ・生活記録ノートに朝食の有無を書かせ、睡眠時間との関連を考えさせる。 ・給食の残食ゼロ運動を企画し、食事時間の確保のための配膳時間短縮を努めさせる。 		

第 1 学年 学級活動指導案

1 題材・活動名	2 学級の実態	3 主項目
21 学級財産の確認 (10月第2週)	文化祭・合唱コンクールへの取組を通して、事前に掲げた目標の下で学級一丸となって活動できた。新聞コンクールでは優秀賞、合唱コンクールでは最優秀賞を獲得し、学級財産が増えたことを生徒たちは大変喜んでいる。 課題であった男子生徒2名は、時にふざけながらも役割を果たすことができた。男女の協力が図られ、コンクール当日も円陣を組んで発表に臨んだ。課題は、リーダーたちが客観的な評価をもらうことと、地道な活動を進めた生徒たちに焦点を当てることである。	(1)ウ 学校における多様な集団の向上
		4 関連・統合
		(2)オ 望ましい人間関係の確立
5 指導のねらい・留意点	6 評価の観点	
文化祭活動を通してのMVPを選出し、学級のために尽力した生徒を讃えて自信を持たせる。さらに、これまで地道な活動を続けてきた生徒たちの努力も、生徒同士の評価を通して明らかにし、学級全体で共有させ望ましい人間関係づくりに役立てる。 本時の活動を通し、一人一人の力が結集したことによって大きな行事を成功させた実感を学級全体にもたせる。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの活動を振り返り、困難だったことも肯定的にとらえて評価している。 ・「合唱のMVP」「制作のMVP」「展示活動のMVP」「委員会のMVP」など、複数の部門賞の選出を通して、様々な活動場面での仲間の活躍を讃えている。 ・一人一人が自分自身の行ってきた取組に自信をもち相互に認め合う関係を築いている。 	
7 本時の展開		
段階	活動	指導の留意点
導 入 10 分	1 学級会の開会 2 文化祭・合唱コンクールのビデオ鑑賞 (約5分)。 自分たちの合唱コンクールの発表をビデオで見て、目標としていたような発表ができたのかを確認する。 3 成果の確認 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">文化祭・合唱コンクールでの、互いの活躍を讃えよう</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの努力を客観的に見る機会であることを意識付ける。 ・合唱リーダーや制作担当者に、コンクール等の成果を発表させる。受賞がない場合も、努力を認めさせる。
展 開 30 分	4 話し合い 4人グループで、各部門のMVPの選出と推薦理由を話し合い、シートに記入する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">合唱部門 新聞部門 制作部門 展示活動部門 委員会部門</div> ※その他、グループで決めた特別部門	
終 末 10 分	5 発表 グループで選出したMVPを、部門ごとに発表する。 6 まとめ 話し合い活動で記入したシートをもとに、生徒の活躍を紹介する。学級を離れた場所でも役割を果たし、行事の成功のために力を尽くしたことへの感謝と賞賛の気持ちを感じとる。	<ul style="list-style-type: none"> ・仲間の努力や学級の協力がどのように図られていたのかを、具体的な推薦理由とする。 ・学級の全員が推薦対象者であることを意識させる。 ・一人に決められない場合は複数名の選出でもよい。 ・発表後にシートを回収する。表彰は後日であることを告げる。
8 事後の指導		
<ul style="list-style-type: none"> ・MVPの表彰は、部門ごとに賞状を用意し行う。選出されなかった生徒には、担任から個人賞を授与する。 ・個々の努力が、今後は授業の受け方をはじめとした学習面でも生かせるよう意識づける。 ・学級通信にアンケートの回答を載せ、帰りの会等で読ませ、仲間への評価の言葉に共感させる。 ・生徒会や学年委員会の文化祭反省アンケートは、朝や帰りの会等を利用して書かせる。 		

第 1 学年 学級活動指導案

1 題材・活動名	2 学級の実態	3 主項目
31 学習習慣の見直し (3月第1週)	授業中は、発表も多く意欲的な学習態度の生徒が多い。ほとんどの生徒が家庭学習にもまじめに取り組んでいる。 しかし、学習内容の難易度に対応した取組が確立できなかったり、部活動等で帰宅時間が遅いために、小学校時代よりも家庭学習量が減っていたりすることを悩みと思っている生徒が少なくない。 数学の文章題で立式ができなかったり英語の綴りが正確にできなかったりなど、細かなつまずきも見受けられる。	(3)イ 自主的な学習態度の形成と学校図書館の利用
		4 関連・統合 (2)ア 思春期の不安や悩みとその解決
5 指導のねらい・留意点		6 評価の観点
「勉強をしても学力が上がらない」「学習に手がつかない」等の悩みが解消できずにいたり、有効な学習方法を暗中模索していたりする生徒の悩みに応える。 日ごろの教師からの助言が理解できずにいる生徒にとっては、実際に成功している学習方法や、継続性のある取組をしている生徒との交流によって、改善策を得ることが必要である。よって、話し合いをきっかけに学習方法を検討させる。		<ul style="list-style-type: none"> ・自分の学習状況を振り返り、苦手と感じている教科とその内容を、具体的に掲げている。 ・改善策の提案を聞いて、今後自分がすべきことを考え、具体的な言葉でまとめている。 ・自分にとって必要な学習方法や内容を考え、学習上の悩みを解決しようと取り組んでいる。
7 本時の展開		
段階	活動	指導の留意点
導入	1 教師の話 これまでの定期テストの平均の推移を見て、学習の難易度が上がっていることを認識する。	<ul style="list-style-type: none"> ・テストの得点のみに注目せず、学習の難易度が上がっていることや、授業、家庭学習の充実が必要であることを意識付ける。 ・授業中の取組、家庭学習の方法など、多面的に学習を振り返らせるよう助言する。
12分	2 ワークシートへの記入 自分の学習状況を振り返り、問題点を明らかにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;"> 学習のつまずきの原因とその克服の仕方を考え、学力を充実させよう </div>	
展開	3 話し合い (1) グループ内での交流 小グループで、学習の悩み、現在の学習状況を発表し合う。 (2) 問題解決への話し合い グループリーダー、記録者を決めて話し合う。 (3) 全体への発表 グループごとに代表者を決めて発表する。 (4) 質問・意見 学習の工夫点などをさらに明らかにする趣旨で交流を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・記入したワークシートを活用して発表させ、グループごとの意見集約を促す。 ・家庭学習ノートを見せ合って有効な学習方法を検討するなど、具体策が出やすい話し合いになるよう助言する。
30分	4 まとめ 本時の学習を振り返り、自分自身で考えた具体策を記入する。 教科担当の先生に聞いてみたい学習方法を記入する。	
終末		<ul style="list-style-type: none"> ・学習習慣の改善のために必要な学習内容や方法、所要時間を明らかにさせる。 ・本時の学習で明らかにできなかった点を、教科担当の教師へどのように質問するかを考えさせる。
8分		
8 事後の指導		
<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習で立てた改善策をもとに家庭学習が改善されているのかを、今後の取組から評価する。 ・学級から吸い上げた学習上の悩みへの回答を、授業中や個別の場面でしてもらうよう、教科担当の教師に協力を求める。 ・積極的に教科担当の教師から学習方法の改善策を助言してもらうよう促す。 ・生活記録ノートを活用して学習上の悩みや改善策を収集し、個々への相談に活用する。 		

第2学年 学級活動指導案

1 題材・活動名	2 学級の実態	3 主項目
1 2年生になって (4月第1週)	学級編制替えによって新しい集団での生活を迎える。 本学級には、昨年度に級友との人間関係のトラブルに悩んだ生徒や、いじめの加害者として指導を受けた生徒がいる。彼らは新年度のスタートと共に心機一転したい様子である。 また、学級への所属意識が希薄だったために、級友を信頼できなかつたり大切にできなかつたりした事例もある。よって生徒同士の内面的なつながりを強め、人間関係の形成によって不安を解消させる必要がある。	(2)ア 思春期の不安や悩みとその解決
		4 関連・統合 (2)オ 望ましい人間関係の確立
5 指導のねらい・留意点		6 評価の観点
個々には様々な問題があった生徒たちであるが、学級への所属意識、生徒同士の仲間意識の醸成を図ることにより、新たな学校生活への希望をもたせる。 互いの意見を交流しながらグループワークを進め、活動を通して自己開示することにより、望ましい人間関係の育成を図る。		<ul style="list-style-type: none"> ・生徒同士で自分自身の願いを発表し、グループのメンバーが共感的に聞き入れている。 ・掲示された級友の言葉を共感的に受け止めている。 ・学級への期待感と、担任や級友への信頼感が得られた感想が書かれている。
7 本時の展開		
段階	活動	指導の留意点
導 入 10 分	1 担任から (1)本時の活動についての説明を聞く (2)活動のモデリングとして、担任が発表を行う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">学級・生徒に対しての、①自分の願い、②自分の誓い</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">学級への願いと誓いを語り合おう</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒は、新学級になってはじめて担任の所信を聞くことになるので、思いを伝えられるように話す。
展 開 30 分	2 個票への記入 配布された付箋紙に、学級・仲間への願いと誓いを記入する 3 グループ内発表 (1)はじめに、担任からグループ発表におけるルールを聞く。 (2)新しい生活班（5～6人編制）で一人ずつ発表しながら、付箋紙を画用紙に貼っていく。 4 閲覧及び掲示 (1)付箋紙の貼られた各班の画用紙を、班隊形の机に置き、自由に閲覧する。 (2)閲覧時間を過ぎたら、黒板へ掲示する。	<ul style="list-style-type: none"> ・活動が遅れがちなグループを支援する。 ・閲覧時間に、生徒の交友関係を観察し、生徒理解に努める。 ・どんな答えも嘲笑せず、尊重する態度をもつことを指導する。
終 末 10 分	5 感想記入 他の生徒の願いや誓いを見ての感想、本時の授業の感想をワークシートに記入する。 6 まとめ 担任の説話を聞く。	<ul style="list-style-type: none"> ・本時に感想発表をせず、じっくりと記入する時間を与える。 ・学級目標の原案は、一人一人の思いや願いに基づき、学級の総意で決まることを説く。
8 事後の指導		
<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が記入した感想を学級通信に載せ、帰りの会等で生徒に読ませて他者理解に努めさせる。 ・付箋紙の貼られた画用紙は教室に掲示し、学級目標の原案として見せる。 ・学級目標が決定した後は、朝の会で全員に唱和させ、学級の一体感をもたせる。 		

第2学年 学級活動指導案

1 題材・活動名	2 学級の実態	3 主項目
11 将来の生き方と職業 (6月第3週)	総合的な学習の時間に行われる職場体験へ向け、すでに学級内では、地域産業に関わる事業所5コースに分かれてグループ分けが行われた。 生徒が期待しているのは職業を体験することであるが、地域産業に関わる人たちから、生き方や社会の一員としての役割を学び、自分の将来を考えて進路選択に役立たせるための学習が必要である。	(3)オ 主体的な進路の選択と将来設計
		4 関連・統合
5 指導のねらい・留意点	6 評価の観点	
職場体験の機会に、職業を体験するだけでなく、職業に携わる人々の生き方を学ばせる。そこで、事前に地域産業が求める人材について生徒たちに考えさせ、主体的に進路を選択する態度へとつなげる。 また、職場体験の際に、本時の学習を通して設定した課題が解決できるよう、インタビュー活動へつなげる学習とする。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域産業が社会に貢献している点を、自分たちの生活経験に基づいて、主体的に考えている。 ・地域産業界が求める人材について、自分なりの考えを發表している。 ・職場体験でインタビューしたいこと、臨む姿勢を本時の活動を通して考えている。 	
7 本時の展開		
段階	活動	指導の留意点
導入 10分	1 担任から 本時の活動についての説明を聞く。 2 活動の説明 本時の課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; text-align: center; padding: 5px;"> 地域の産業を支える人材を考えよう </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学習の時間に行う職場体験の趣旨を確認し、自らの将来へつなげていく意義があることを確認する。
展開 30分	3 活動1 3～4人でグループを編成し、活動を行う。以下のことについて各自が考えたことを付箋紙に書き、模造紙へ貼り付けていく。 (1) 話し合い ①地域の産業は、社会へどのように貢献していると思うか ②地域の産業が求める人材とはどんな姿だと思うか ③自分が地域の産業に関わるなら、どんな仕事をしたいか (2) グループ内交流 一人一人が発表者になり、模造紙に貼った内容を説明する。	
終末 10分	4 活動2 グループごとに模造紙を持参し、学級の前で発表する。 5 まとめ 本時の感想及び、職業理解のために総合的な学習の時間に調べたことをワークシートに記入する。	<ul style="list-style-type: none"> ・職場体験の際にインタビューする内容と、どんな態度で体験に臨みたいかの確認する。
8 事後の指導		
<ul style="list-style-type: none"> ・職場体験の事前指導の際に、本時に考えたインタビュー内容、臨む態度を活用する。 ・進路希望を確認する際に、職業名とともに将来の人生設計を考えさせる。 ・自分が主体的に社会と関わっていくことが、進路を考える上で必要であることを指導する。 		

第2学年 学級活動指導案

1 題材・活動名	2 学級の実態	3 主項目
21 後期活動へ向けて (10月第2週)	生徒会役員選挙を経て、学級からは5名が次期生徒会リーダーとして認証されている。今後はこの生徒たちが、全校と学級をつなぐパイプ役を務めることが期待される。 学級の課題として、委員会活動が代表委員だけのものになっており、学級内での活動が停滞気味であることが挙げられる。 同級生が全校リーダーとなった今、共に生徒会活動を作っていく決意をもたせ、全校を牽引する学年となるよう自覚させる必要がある。	(1)ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決
		4 関連・統合 (1)ウ 学校における多様な集団の生活の向上
5 指導のねらい・留意点		6 評価の観点
生徒会がリーダーだけの活動にならないよう、意識付けを行う。特に3学期に行われる三送会は在校生の代表となることから、全員の参画意識を高める。 また、3年生の前期に行われる行事、委員会活動を提示し、そこでの具体的な行動をイメージさせ、意欲へとつなげる。		<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会リーダーへの協力の意志を、個々の気持ちを込めて示している。 ・次期生徒会を担う自分たちの立場を自覚し、これからの展望をもって活動に参加している。 ・学級内外での様々な場面で活躍することを決意し、学級内でその気持ちを表明している。
7 本時の展開		
段階	活動	指導の留意点
導入	1 次期生徒会リーダーの紹介 次期生徒会役員が一人一人、これからの活動について決意を話す。	<ul style="list-style-type: none"> ・学級の代表として生徒会リーダーを務めるという趣旨が伝わるよう、必要に応じて補足説明を行う。 ・生徒が、自分たちの運営する行事であることを自覚するように促す。
10分	2 今後の活動予定について 生徒会役員が、今後の生徒会の行事運営について説明する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-top: 5px;"> 生徒会リーダー-学年の一員として、決意を表明しよう </div>	
展開	3 今後の活動について 以下の内容について、各自の決意や意欲をワークシートに記入し、今後の活動への展望をもつ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-top: 5px;"> 三送会 委員会の日常活動 応援団活動 部活動 その他 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・決意や意欲を表明するとともに、どのような役割を負い、どのように活躍することを考えているのか発表できるよう、準備させる。 ・相手の発言に対し、積極的に質問することを前提に、熱心に話を聞くよう指導する。 ・リーダー-学年の一員としての決意を示す発表になるよう指導しておく。
35分	4 グループ内での交流 (1)小グループで一人ずつ発表する (2)発表への意見を話す (3)学級への発表者を決める	
5分	5 発表 代表者が、グループ内での交流の様子を学級へ発表する。	
終末	6 まとめ 学級内外の様々な場面で、活躍を決意した級友の話を聞く。	<ul style="list-style-type: none"> ・机間指導をして、学級全体で共有すべき意見が書かれている生徒を発表者として指名する。
5分		
8 事後の指導		
<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いの様子を学級通信に掲載し、帰りの会で読ませ、他者理解に努めさせる。 ・後期学級組織決めの前に、今後自分でやりたい役職やリーダーをアンケートで調査する。 ・後期学級組織決めの際に、今回の話し合いで示した意志に基づいた人選ができるよう促す。 		

第2学年 学級活動指導案

1 題材・活動名	2 学級の実態	3 主項目
31 先輩への思いをこめて (2月第1週)	後期の活動が始まってから、係・当番活動と委員会活動を連動させた活動が、学級内の動きとして定着してきた。生徒会活動に対して主体的な態度を示すようになってきている。 三送会、卒業式では、在校生のリーダー学年として、自分たちを高めつつ下級生を指導しなければならない。また、先輩から学校の文化を受け継ぎ、学校を背負って立つ役割を自覚する必要がある。	(2)ウ 社会の一員としての自覚と尊重
		4 関連・統合
5 指導のねらい・留意点	6 評価の観点	
お世話になった先輩への感謝の気持ちと、これから学校を背負って立つ自分たちの決意を示す活動を行う。具体的には、三送会の場で上級生に渡すメッセージカード作成を通して、生徒一人一人の決意を言葉にする活動である。 学校の一員としての自覚を促し、仲間と協力して三送会を成功させようとする意欲を喚起させることをねらいとする。	<ul style="list-style-type: none"> ・お世話になった先輩への感謝の気持ちを、具体的な言葉で示している。 ・次期生徒会を担う自分たちの立場を自覚し、その思いを交流している。 ・感謝と決意の気持ちをメッセージとして記入している。 	
7 本時の展開		
段階	活動	指導の留意点
導入 10分	1 教師の話 上級生からお世話になったことを振り返り、発表する。 2 活動の説明 本時の活動の趣旨を説明する。 <div style="border: 1px solid black; text-align: center; padding: 5px;">先輩へのメッセージカードを書こう</div>	<ul style="list-style-type: none"> ・日ごろの生徒の活動に焦点をあて、上級生への尊敬の気持ちや感謝の気持ちが表現されるよう発問を工夫する。
展開 35分	3 各班の活動 (1)活動のルールについて 先輩への感謝の気持ちと、学校文化を受け継ぐ自分たちの決意の言葉を書くことを確認する。 (2)寄せ書き 兄弟学級の班メンバーの名前を書き、寄せ書きをする。 各班の机をテーブルにして、書き終わったら次の班へ移動する。	<ul style="list-style-type: none"> ・必ず先輩へのメッセージと自分の決意を盛り込み、受け取った先輩に気持ちが伝わるよう言葉の表現を工夫させる。 ・作業をしながら、互いに記入したメッセージを読み合うよう促す。
終末 5分	4 今後の活動について 三送会で兄弟学級に色紙を渡す代表者の選出を行う。 学級全体からのメッセージを発表する生徒の選出を行う。 5 本時の評価 担任から、本時の活動の評価を行う	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動ぶり、メッセージカードの言葉に触れて評価する。
8 事後の指導		
<ul style="list-style-type: none"> ・前年度の行事記録から、メッセージカードを渡す場面のビデオを見せ、会のイメージをもたせる。 ・代表者の動きのリハーサルを行い、学級のメッセージを伝えるイメージをもたせる。 ・本時の授業でまとめた生徒たちの決意を、学級通信で紹介し、学校での指導を家庭にも理解してもらう。 		

第3学年 学級活動指導案

1 題材・活動名	2 学級の実態	3 主項目
1 最高学年になって (4月第1週)	2年生から持ち上がりの学級である。新年度から、対面式や部活動オリエンテーションの準備など多忙なため、学級開きの時間が後追いになってしまい、生徒はただ、行事に動かされているような印象である。 生徒一人一人の表情は生き生きとして見えるが、多忙な生徒と、大きな役割をもたない生徒との間でコミュニケーションが希薄になっている傾向がみられる。 学級内の人間関係を確立させる必要がある。	(2)オ 望ましい人間関係の確立
		4 関連・統合 (1)イ 学級内の組織づくりや仕事の分担処理
5 指導のねらい・留意点	6 評価の観点	
生徒同士の内面を交流する機会を設定し、生徒同士の関係を結ぶ。具体的には、中学校生活最後の一年に達成させたいことを発表し合うことにより、互いのよさを認め合う活動を行う。また、改めて学級内の個々の役割を認識し合う機会を設け、新年度の行事へ向けた学級組織の確立に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人一人が、自分の考えを肯定的に捉えて目標を記入している。 ・他の生徒が書いた目標を読み、共感的な態度を示している。 ・一人一人が学級や学校における自分の役割を自覚し、役割を果たそうとする意欲を示している。 	
7 本時の展開		
段階	活動	指導と援助
導入 10分	1 教師の話 担任から、今年度1年間の見通しを聞く。 今年度1年間の学校生活を、行事予定と進路計画を中心に確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・年間行事予定表を補助資料として配付して説明し、年間の見通しをもたせる。
展開 30分	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center; margin-bottom: 5px;"> 中学校生活最後の1年を充実させるための目標を、共に考えよう </div> 2 個人目標の作成 以下の内容について、この1年で自分が実現したいことを短冊に書く。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center; margin: 5px 0;"> 学習 生活 部活動 行事 その他 </div> 3 交流 模造紙を、教室の黒板や壁面に設置し、学習、生活、部活動、行事、その他のジャンルに分けて掲示する。 「この1年で実現したいこと」を閲覧しながら、感想を述べ合う。 4 発表 交流を通して感じたことや、考えたことを発表する。	
終末 10分	5 先生の 教師から、本時の学習の評価を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・これからの学校生活の意欲につながるよう、一人一人の言葉に触れて、具体的な評価を行うよう心がける。
8 事後の指導		
<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人が短冊に書いた目標を学級通信に掲載し、帰りの会等で読ませ、他者理解を促す。 ・一人一人の目標が貼られた模造紙を学級掲示し、学級目標設定の参考にさせる。 ・休憩時間等に生徒と面談をもち、目標を達成させるために一人一人を支援する態度を示す。 		

第3学年 学級活動指導案

1 題材・活動名	2 学級の実態	3 主項目
11 高校説明会を終えて (7月第2週)	進路希望調査を実施し、第一希望の高等学校を、全員から吸い上げている。しかし、先日の高校説明会を経て学校の様子を知り、志望校を変更する生徒も出てくるものと考えられる。 進路選択は生徒一人一人の問題だが、他の生徒の進路に対する考えに触れる機会がないため、自分自身の判断に自信をもてずにいる生徒が多い。	(3)ウ 進路適性の吟味と進路情報の活用
		4 関連・統合
5 指導のねらい・留意点	6 評価の観点	
高校説明会で一人の生徒が出席できる高校は2校までだったので、他の高校の説明を聞いた生徒からの情報提供があると、自分自身の進路希望の見直しに役立つ。 本時の活動では、参加した高校ごとに発表資料を作成し学級内で発表させる。これによって情報の共有を図り、進路適性の吟味へとつなげることをねらう。	<ul style="list-style-type: none"> ・発信した情報が活用されるよう、見やすい資料の作成、分かりやすい説明を行おうとしている ・高校説明会の際に参観できなかった高校についての説明を熱心に聞いている ・得た情報を、進路適性の吟味に生かそうとしている 	
7 本時の展開		
段階	活動	指導と援助
導入	1 高校説明会を終えての感想発表 高校説明会後に提出した用紙を担当が読み聞かせる	<ul style="list-style-type: none"> ・校種の違う数名分の感想を選んでおく。一人一人、進路に対する考え方の相違があることに気付かせる。
7分	2 本時の活動の説明 校種ごとにグループ編制をし、発表を聞き合うことを確認する	
展開	各高校の説明内容を紹介し合い、進路選択に役立てよう	<ul style="list-style-type: none"> ・高校説明会の情報を共有することを意識付ける。 ・資料作成、発表とも他者へ発信することを意識させ、分かりやすい伝え方を心がけさせる。 ・発表内容をメモさせ、不明な点や詳しく知りたい部分を質問することを指導しておく。
35分	3 活動 グループ分けされたメンバーで分担し、発表資料を作成する。発表の手順を確認し、分担後にグループ内でリハーサルを行う。	
35分	4 グループごとの発表 各グループの発表を聞き合う。	
7分	5 質疑 グループの発表に対する質疑をとる。	
7分	6 感想記入及び発表 今日の学習を振り返り、感想を発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ・記入した感想を学級通信で紹介することを伝え、他者意識をもって記入することを指導する。
8 事後の指導		
<ul style="list-style-type: none"> ・クラス内の発表会の様子を学級通信に掲載し、学級として進路に関する取組を行っていることを保護者に紹介する。 ・学級通信の返信欄を利用して保護者からの意見・感想を吸い上げ、帰りの会等を利用して生徒に読み聞かせる。親として子どもの進路をどう考えているかを捉えさせる。 ・本時の発表会を受け、進路の再検討を行いたい生徒の希望を聞き、必要に応じて個々に面談を行う。 		

第3学年 学級活動指導案

1 題材・活動名	2 学級の実態	3 主項目
21 将来の夢と希望 (10月第4週)	<p>高校説明会や高校1日体験入学を経て、ほとんどの生徒が進路希望を固めつつある。</p> <p>学級の全員が高校進学を希望しているが、進学目的が具体化していない生徒や、将来の職業までの見通した科の選択が行われてない生徒がおり、指導が必要である。</p> <p>面接試験の模擬練習が行われることもあり、自分の言葉でこれらを表現することの大切さも気付かせなければならない。</p>	<p>(3)エ 望ましい勤労観・職業観の形成</p> <p>4 関連・統合</p> <p>(3)ウ 進路適性の吟味と進路情報の活用</p>
5 指導のねらい・留意点		6 評価の観点
<p>職業選択までを見据えた長期的な進路希望に基づいて、中学校卒業後の進学が考えられるように活動を展開させる。</p> <p>10年後の自分を考えることは、職業人として自立した自分の姿を描くことである。中学校卒業後の進学が、10年後の姿にまでつながっていくことを意識させる。</p> <p>また、面接試験に向けて、自分なりに考えた進路希望をしっかりと言葉にまとめ、他者へ伝えられるように活動を工夫する。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・これまで提供されたり自分で収集したりしてきた進路情報を活用し、進路について主体的に考えている。 ・将来の夢、目標に基づいて進路希望を具体化し、そこに至るまでにすべきことを細かに調査している。 ・自分の進路希望として自己決定したことを、自信をもって発表している。
7 本時の展開		
段階	活動	指導の留意点
導入	<p>1 教師の話 本時の説明を聞く</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の人生を語ることは、自己開示をすることである。まずは教師が自分自身の人生を紹介することにより、教室内に自己開示できる雰囲気を作るよう心がける。
7分	<p>2 課題の確認 担任自身の中学校卒業から25歳までをモデリングする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 5px 0;">25歳までの自分の将来を考えよう</div>	
展開	<p>3 個々の活動 ワークシートに、15歳～25歳までの自分の進路について記入する。</p> <p>4 交流 ペアで、互いの質問に答える形式で活動を行う。 制限時間内に、最低3名と交流する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・将来の夢を考えても構わないが、自分の可能性をどのように将来へ生かしていくのか、建設的に考える機会であることを指導する。 ・自分の描いた将来を、自分の言葉で表現することが目的であることを指導する。
40分	<p>5 感想記入 各自の座席に戻り、本時の感想を記入する</p>	
終末	<p>6 本時のまとめ 担任から、本時の評価を聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の描いた将来の姿を目標として、進学を考えていくことの大切さを伝える。
3分		
8 事後の指導		
<ul style="list-style-type: none"> ・回収したワークシートを点検し、高校入試面接練習の受け答えの指導に活用させる。 ・感想記入用紙から、特に有用と思われる内容のものを抜粋して学級通信で紹介し、生徒相互の理解に役立てる。 ・今後も進学情報を収集する際には、その学校を卒業した後の進路についても確認するよう指導する。 		

第3学年 学級活動指導案

1 題材・活動名	2 学級の実態	3 主項目
31 有終の美を飾るため (2月第1週)	推薦合格者及び私立専願合格者以外の生徒は、来月の公立高校入試を受検する。進路実現は個々の目標に基づくものであるが、学級全体でも全員進路達成の目標を掲げて取り組んでいる最中である。 一方で、三送会、卒業式で自分たちが何を後輩に伝え、何を学校へ残そうかという目標を立てて、残り少ない中学校生活を過ごす課題もある。	(1)ウ 学校における多様な集団の生活の向上
		4 関連・統合
		(2)オ 望ましい人間関係の確立
5 指導のねらい・留意点		6 評価の観点
<p>最上級生として後輩へ伝えるべきもの、学校へ残すべきものを考えさせる。三送会と卒業式で歌う合唱がいちばん大がかりな取組になるが、日常の学校生活の中でできることも考えさせる。</p> <p>本時は、残り1ヶ月半の学校生活で自分たちが示すものを考え、有終の美を飾るために取り組むことを決める時間とする。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの良さが何かを考え、それに基づいた取組を考えている。 ・学級を活性化させるため、前向きに意見を述べている。 ・話し合い活動を通して、級友との意見のすり合わせを自分たちで行っている。
7 本時の展開		
段階	活動	指導の留意点
導 入 12 分	1 学級会の開会 2 昨年度の卒業式のビデオ鑑賞 (約10分) 3 課題の確認 学級委員から本時の話し合いのテーマを発表する	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の卒業生の姿を見せることが目的ではなく、卒業生として何を示そうとしているのかを感じることに留意させる。
展 開 30 分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;"> 有終の美を飾るため、〇組全員でできることを考えよう </div> 4 話し合い1 (1) 3～4人グループを編制し、以下の場面で自分たちが下級生や学校へ残すために行うことを話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin: 5px;"> 三送会 卒業式 日常生活 </div> (2) グループごとの発表 5 話し合い2 (1) 取組内容についての話し合い (2) グループごとの発表 取組内容と提案理由を発表する。	
終 末 8 分	7 学級委員から 本時の話し合いを受けて、取組の方法、期間、内容などの詳細を学級執行部で決め、再提案することを話す。	<ul style="list-style-type: none"> ・生活の向上と、学級の和を実感する最後の機会であることを担任からも話す。
8 事後の指導		
<ul style="list-style-type: none"> ・本時の話し合いに応えられる起案ができるよう、学級執行部の話し合いを支援する。 ・すでに入試を終えた生徒たちを中心としたプロジェクトチームを編成し、取組の推進を担当させる。 ・取組を意識できるようにポスター等の掲示を行う。 		